

支笏湖歴史年表(2020年4月1日版)

凡 例

- ・この年表にはそれらの時代背景を知るうえで必要な出来事も併せて記載した。
- ・アイヌ語を起源とする地名であっても現・字名は漢字表記とした。
- ・不確定な事項については末尾に「？」を付したほか、併記した。
- ・『千歳市史』、『増補千歳市史』、『新千歳市史』(上、下)、新千歳市史機関誌、『志古津』各号、『苫小牧市史』(上、下)、『苫小牧民報』、『千歳民報』、『北海道新聞』を主な典拠とし、そのほかの文献・資料によって補った。
- ・青文字表記は2015年度以前に追加、加筆、修正した項目
- ・茶文字表記は2016年度以降に追加、加筆、修正した項目

さまざまな記録に出てくる全面結氷

①	明治43	1910	高橋長助『あなたをまつ支笏湖』(1972)
②	大正2	1913	北海道水産試験場千歳支場支笏湖孵化場日誌(『魚と水・2001年支笏湖が凍った理由』)
③	大正3	1914	高橋長助『あなたをまつ支笏湖』(1972)
④	昭和15年	1926	支笏湖丸駒温泉旅館80年
⑤	昭和19	1944	高橋長助『あなたをまつ支笏湖』(1972) 2月 千歳鉱山社員・鈴木平八郎談(旭川大学地域研究年報5号千歳鉱山1983年)
⑥	昭和20	1945	高橋長助『あなたをまつ支笏湖』(1972) 佐々木金治郎談(千民2015) 2月鈴木平八郎談(同)
⑦	昭和28	1953	PHOあり(ビジター所蔵) 2月20日ごろから結氷(苫民) 結氷状況図(千歳市所蔵)
⑧	昭和53	1978	陸自、道新ヘリコプターで確認・PHOあり 2月19日～3月24日 2回結氷?(2月19日～24日、3月)
⑨	平成13	2001	陸自、道新ヘリコプターで確認・PHOあり 2月15日～4月10日?

元号	西暦		支笏湖関連事象
正保元年	1644	秋	松前氏広、幕府呈上『正保御国絵図』に「シコツ越え」を描く
万治元年	1658		地名「志古津」初出(『福山秘府』中「志古津弁財天小社建立」の記録)
寛文6	1666		僧円空 志古津弁天堂に自作仏像奉納
寛文7	1667	8月6日	樽前山最大規模噴火・火砕流が山麓に達し、噴煙は成層圏。降灰は苫小牧で1～2m、十勝・道東にまで
享保9	1724	7月	前年、西蝦夷地サケ不漁。東蝦夷地シコツでもアイヌに餓死者でる。松前藩、幕府に報告
元文4	1739	7月14～26日	樽前山大噴火、火砕流山麓に達し山頂にカルデラ形成。降灰は苫小牧で50～80cm
宝暦13	1763	6月	飛騨屋久兵衛(蝦夷檜材業)手代、支笏湖で怪獣に会う
	1802	2月	幕府・蝦夷地之奉行(5月改称・箱館奉行)新設 奉行に羽太正狼・戸川安論任命
文化1～14	1804～1817		樽前山中噴火、外輪山、中央火口丘が形成(正確な噴火年不明)
文化2	1805		函館奉行羽太正狼「シコツ」を「千歳」と命名
文化9	1812		狩野派画家谷文晁(たにぶんちよう)『日本名山圖會』発行、谷元旦(たにげんたん)画とされる樽前山を掲載(樽前山図画初出)
安政4	1857	7月	松浦武四郎・千歳(支笏湖周辺)周辺踏査(5回目の蝦夷地踏査)
		この年	荒井金助・村垣淡路守 石狩～千歳間道路を開削
慶応3	1867	初秋	樽前山中噴火・古期溶岩ドーム形成

慶応4(明治元年)	1868	7月	仙台藩白老元陣屋藩士が陣屋を放棄(仙台藩降伏→追討軍白老進軍情報)、ピプイのシラッチセに潜伏後、小樽から船で帰国
		9月8日	明治と改元、一世一元の制定める
明治2	1869	8月15日	千歳・長都・漁・島松・蘭越・烏柵舞6村⇒胆振国千歳郡編成(蝦夷地を北海道と改称し11国86郡を置く)
		8月20日	千歳郡高知藩支配
4	1871	4月	開拓使勇払出張所開庁(千歳を管轄する初の行政機関)
		8月20日	千歳郡高知藩支配免除⇒開拓使直轄(引渡・明治5年5月1日)
5	1872	5月	開拓使千歳出張所開設(千歳管内初設置の行政機関)
		この年	幌美内「太平山」碑(恵庭岳硫黄採掘安全祈願・秋田市広面赤沼三吉寺社分身)佐竹義理建立
6	1873	12月	室蘭街道(現・国道36号)開通(工事請負=伊藤一隆の父・平野弥十郎)
		この年	開拓使千歳駅逓所開設
7	1874	2月8日	樽前山中噴火、古期溶岩円頂丘破壊
		2月16日	樽前山噴火 札幌方面降灰
		4月28日	開拓使千歳出張所廃止、勇払出張所所管(以後、千歳郡の所管=明治8年勇払出張所廃止し本庁民事局所管勇払詰所、明治9年民事局所管廃止し勇払分署、明治10年勇払分署廃止し本庁所管、明治13年勇払分署廃止し勇払郡役所)
8	1875		
9	1876		
10	1877		この頃、支笏湖街道(沼街道)開削(ママチ、藤の沢経由)
11	1878	9月3日	英旅行家イザベラ・バード、北日本踏査中に樽前山に登山。登頂ルポを『日本未踏の地(1911年刊)』に記述(8月20-21日、白老一苦小牧周辺を歩き樽前山について記述「日本奥地紀行」(1880年刊)…樽前山欧州初紹介)
		11月	官営美々鹿肉缶詰所開設、明治13年～休業、明治17年6月廃止
12	1879		塩谷栄作が漁に来住、旅宿経営(屋号=○に駒)し、後に幌美内で温泉宿を営む(屋号=○に駒)
13	1880	3月1日	千歳外五ヵ村戸長役場開庁(千歳開庁記念日)
		8月	千歳地方バッタ大発生(十勝国バッタ大発生飛来)
14	1881	1月	開拓使札幌本庁地理課森林派出所設置、樽前官林管轄
		9月2日	明治天皇行幸(8~9月)・千歳行在所ご宿泊(新保旅館)
16	1883	10月7日	樽前山噴火 この年3回噴火(10月18日、11月15日)
17	1884		
18	1885	1月4日	樽前山噴火 この年2回噴火(3月26日)
19	1886	4月13日	樽前山噴火 この年3回噴火(4月15~16日、4月28日)
20	1887	9月3日	樽前山噴火 この年3回噴火(10月7日、10月8日)
21	1888	11月	国費で千歳鮭魚人工孵化場開設・北海道庁水産課技師伊藤一隆
22	1889	10月	支笏湖・樽前山一帯官有林が御料林に編入→支笏湖一帯は樽前御料林(苫小牧市史では1890年9月)
23	1890		サケ稚魚保護のため千歳川本流への木材流送10/16~翌年5月の間禁止
24	1891		
25	1892		
26	1893		
27	1894	2月8日	樽前山噴火 この年2回噴火(8月17日)
		12月	阿寒湖カバチエツポ(姫鱒)卵支笏湖移殖、支笏湖孵化場仮小屋建設 ~明治30年

		この年	鮭鱒卵孵化放流～明治29年(回帰なし)
28	1885	4月	カバチェッポ孵化稚魚初放流12万匹
29	1896	11月9日	捕魚車(インディアン水車)始動～12月12日
		この年	津田震一郎丸山にマツ小函素地製造工場「北海工場」創業(エゾマツ利用、明治38年1月廃業)
30	1897	10月23日	カバチェッポ(姫鱒)初回帰確認
		この年	樽前山一等三角点石柱埋設(東ピーク)
31	1898		千歳鮭魚人工孵化場支笏湖孵化場(支笏湖事業所)開設? シリセツナイ川河口湖岸に築堤設置堤内に産床を設ける
32	1899		恵庭・光竜鉱山発見(ラルマナイ川支流金山沢)
33	1900		カバチェッポ(姫鱒)卵亀田郡漁業組合(大沼)へ分与(初分与)
34	1901		
35	1902	12月	カバチェッポ(姫鱒)卵十和田湖及び大沼へ分与(道外初分与)
		この年	木材の搬出本格化、筏による湖上輸送始める モラップ地区での伐採本格化(坂本作次郎) その後中村組 昭和10年から帝室林野局 札幌・坂本木材が建設材として千歳川で流送(湖を筏で渡し、ネッソウからポロソウ間木製軌道、ポロソウから流送)
36	1903		カバチェッポ(姫鱒)卵秋田県田沢湖及び大沼へ分与
37	1904	9月～10月	王子製紙専務鈴木梅太郎一行、千歳川と支笏湖周辺調査 9月29日～10月2日
		この年	丸山地区に初造林(御料局札幌支庁苫小牧出張所、モラップ部分林東隣地315林班、クロエゾマツ山引苗3.66ヘクタール) 同地区の造林事業の始まりとされる。(道内で初めての造林事業?)
38	1905	12月	千歳村王子製紙工場誘致請願書提出
39	1906	2月	苫小牧村王子製紙工場誘致陳情書提出
		4月	王子製紙土地買収をはじめ
		4月7日	王子製紙千歳川水利権取得
		9月22日	御料局札幌支庁王子製紙に林木払下げ契約 1907年より10年間毎年8万尺(1年で中止)
		10月	王子製紙臨時株主総会で苫小牧工場新設正式決定
40	1907	5月20日	千歳川第1発電所水路、軌道工事起工(当初計画は馬車軌道)
		5月	王子製紙苫小牧工場建設工事着手
		9月	支笏湖請願巡查駐在所開設(請願＝王子製紙、明治末期廃止)
		10月26日	王子製紙苫小牧工場専用鉄道(山線・王子軽便鉄道)敷設工事認可
		この年	王子製紙苫小牧工場、第1発電所建設材として湖畔・紋別・幌美内・奥潭・支寒内から伐出開始(関東大震災・戦時 用材として1970年まで続く)
41	1908	1月	山線機関車2両三井物産合弁発注(米ポーター社・9月製造)
		5月	王子製紙苫小牧工場建設工事着工
		5月	千歳川河口(呑口)に線路橋架設(木製)
		7月15日	王子製紙・千歳川ネッソウ仮発電所落成
		8月12日	山線運行開始(レールの敷設完成、試運転開始は6月16日)
		12月26日	北海道庁水産課技師・森脇幾茂カバチェッポの「姫鱒」命名提案
		この年	支笏湖孵化場建設(改築) 卵収容能力300万粒
42	1909	1月6日	「姫鱒」命名決定
		4月17日～19日	樽前山大噴火(溶岩円頂丘)噴出、この年、樽前山噴火5回(1月11日、3月30日、4月12日、5月15日)

43	1910	7月12日	王子製紙第1発電所送電開始(別表1参照)																																							
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(別表1) 千歳川発電所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">王子苫小牧工場100年史</th> <th>第1発電所案内看板</th> <th>増市史</th> <th>苫小牧市史</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">第1</td> <td>1909年11月10日</td> <td>第1堰堤・水溜竣工</td> <td>1910年5月28日</td> <td>1910年9月竣工</td> <td>1909年9月11日竣工</td> </tr> <tr> <td>1910年7月12日</td> <td>送電開始</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2</td> <td>1916年3月</td> <td>竣工</td> <td>1916年5月2日</td> <td>1916年3月竣工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第3</td> <td>1918年5月10日</td> <td>竣工</td> <td>1918年5月10日</td> <td>1918年3月竣工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第4</td> <td>1919年11月</td> <td>竣工</td> <td>1920年1月13日</td> <td>1919年11月竣工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第5</td> <td>1941年2月6日</td> <td>竣工</td> <td>1941年4月7日</td> <td>1941年2月竣工</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>			王子苫小牧工場100年史		第1発電所案内看板	増市史	苫小牧市史	第1	1909年11月10日	第1堰堤・水溜竣工	1910年5月28日	1910年9月竣工	1909年9月11日竣工	1910年7月12日	送電開始				第2	1916年3月	竣工	1916年5月2日	1916年3月竣工		第3	1918年5月10日	竣工	1918年5月10日	1918年3月竣工		第4	1919年11月	竣工	1920年1月13日	1919年11月竣工		第5	1941年2月6日	竣工	1941年4月7日
	王子苫小牧工場100年史		第1発電所案内看板	増市史	苫小牧市史																																					
第1	1909年11月10日	第1堰堤・水溜竣工	1910年5月28日	1910年9月竣工	1909年9月11日竣工																																					
	1910年7月12日	送電開始																																								
第2	1916年3月	竣工	1916年5月2日	1916年3月竣工																																						
第3	1918年5月10日	竣工	1918年5月10日	1918年3月竣工																																						
第4	1919年11月	竣工	1920年1月13日	1919年11月竣工																																						
第5	1941年2月6日	竣工	1941年4月7日	1941年2月竣工																																						
		9月	王子製紙苫小牧工場操業開始																																							
44	1911	5月18日	王子製紙苫小牧工場開業式に代え、記念祝宴。室蘭、札幌で催す																																							
		9月12日	皇太子(後・大正天皇)苫小牧工場視察。この日をもって苫小牧工場開業記念日とする																																							
		この年	姫鱒卵洞爺湖ほか9カ所に分与																																							
45(大正元年)	1912	7月30日	明治から大正に改元																																							
		10月	第1発電所に千歳村烏柵舞特別教授所開設(後・水明小学校)																																							
		この年	姫鱒卵日光・中禅寺湖へ分与																																							
2	1913		南七条林道建設(昭和45年改線で第1縦断林道に改称)																																							
3	1914		筏引用船「千歳丸」5ト、搬入木材の湖上輸送始まる																																							
4	1915	4月20日	烏柵舞、蘭越、長都、千歳4村合併⇒千歳村 千歳村2級町村制施行																																							
		11月	大正天皇の即位に際し、支笏湖のザリガニ2000匹(1500匹?)を献上(NHK=全道から2000匹)																																							
		12月	佐々木初太郎、丸駒温泉開業																																							
5	1916	3月	王子製紙第2発電所完成(別表1参照)																																							
		8月	田中阿歌麿、田中館秀三、小久保清治の3理学博士が湖深度、周辺地質、火山調査実施 →水深363m(ルーカス式深測器)																																							
		この年	王子製紙が、大正7年に訪問予定の閑院宮同妃若宮殿下を迎えるため、北海道一と言われた総檜造り貴賓館「苫小牧倶楽部別邸」(支笏湖倶楽部とも呼ぶ)を支笏湖に建設																																							
6	1917	4月30日	樽前山噴火。この年2回噴火(5月12日) 以後小規模噴火およそ20年間続く																																							
		12月	王子製紙が烏柵舞に、私立王子尋常小学校を設置(特別教授所廃止)																																							
		この年	樽前山標高決定⇒1024m(東ピーク)																																							
7	1918	5月10日	王子製紙第3発電所完成(別表1参照)																																							
		6月13日	樽前山噴火																																							
		8月25日	苫小牧倶楽部別邸皇族初宿泊(閑院宮同妃若宮殿下)1945年(昭和20年)8月の清宮貴子内親王まで皇族19回宿泊																																							
		この年	夕振、樽前山麓標高321m地点を「丸山遠見」と命名、簡易な櫓建設																																							
8	1919	2月	烏柵舞地区住民38名、千歳村への不満から北海道長官に苫小牧町への編入請願書を提出(分村運動:大正10年、昭和22年に再燃)→千歳村は大正12年に水明墓地の設定・水明の冬期間児童館、千歳村休泊所(後の北大生寮)設置を約束																																							
		5月4日	樽前山噴火																																							

		8月	王子病院千歳診療所開所(鈴木定一医師) ??
		11月	王子製紙第4発電所完成(別表1参照)
		この年	長都沼から支笏湖へカワエビ移植(スジエビ6升)
9	1920	7月22日	樽前山噴火
		この年	王子製紙第4発電所～千歳間村道開削(村道烏柵舞街道) 北海道水産試験場(道水試)千歳支場から支笏湖へ虹鱒移植(102000尾)
10	1921	7月6日	樽前山噴火
		10月	支笏湖巡查駐在所開設(水溜)
		この年	千歳孵化場からニジマス稚魚(72000尾) 北海道庁、天然記念物候補地として支笏湖周辺調査
11	1922	4月1日	山線一般客受け入れ
		7月	摂政宮(後・昭和天皇)支笏湖行啓、山線貴賓車運行、王子別邸小憩(苫小牧王子アカシア公園静態保存機)
		この年	ヒメマスの保護・育成、採捕許可を得た「支笏湖保勝会」が設立されヒメマス捕獲開始。捕獲は中村組(現・菱中)漁業部。昭和元年捕獲事業官営に戻す。保勝会は昭和7年まで。活動内容は不明 ウトナイ湖からカワエビ移植(スジエビ1斗5升)
12	1923		樽前山噴火 この年4回噴火 2月21日、6月17、29日、7月13～14日
		4月	王子尋常小学校が王子尋常高等小学校になる
		この年	筏引用船「みどり丸」12隻運航 山線千歳川河口にトラス鉄橋架橋(支笏湖鉄橋/函館本線砂川～滝川間第1空知川橋梁(北海道官設鉄道明治32年英製)払下げ)…現・山線鉄橋＝現役鉄橋道内最古(昭和2年ごろ説あり) 苫小牧・国鉄錦多峰駅から樽前山登山のための「樽前山登山案内組合」結成 駅～山頂(1里18町、往復9時間、1人3円50銭 関東大震災復興材として支笏湖周辺から正角7万石緊急伐出
13	1924	6月	千歳村全村を国立公園にとの請願書
		この年	丸山苗畑開設(苫小牧営林署管内で最も古い苗畑 北海工場跡地25×50m帯状の林間苗畑) 苫小牧錦多峰(現錦岡)に「樽前登山案内人組合」設立 「支笏湖」を「千歳湖」に改名上申書
14	1925	5月29日?	北海道水産試験場(道水試)湖の最大透明度25.0mを計測(支笏湖の透明度の一般的な値になっている)
		この年	谷本亀が支笏湖初の動力遊覧船運行 乱獲とプランクトンの減少でヒメマスが全滅に近く、プランクトンを発生させるため、美笛・オコタン・ニナルストマナイ川に大量の農薬カリンサンを堆積し自然流出を計る。その後、ザリガニ・川蟹が全部死滅(ザリガニは昭和3年頃から消えたという説あり)(施肥1927～29年?・千歳と姫鱒) 長都沼からフナ成魚およそ100尾 択捉島得茂別湖(ウルモベツ)から姫鱒卵移植～1926年(10万粒、放流9万尾)
15(昭和元年)	1926	10月19日	樽前山噴火 この年10月4回噴火(24、26、30日)
		10月19日	小樽新聞社機樽前噴火初空中取材(酒井憲次郎操縦「北海」1号機)
		10月22日	小樽新聞社機「北海」1号機千歳着陸(酒井憲次郎操縦)
		10月以降	阿寒湖のマリモ支笏湖へ移植
		12月25日	大正から昭和に改元
		この年	ウルモベツ湖から紅鮭卵80万粒移植(昭和2、3、7、8、10、11、12、14、15にも移植)

			千歳孵化場から虹鱒移植(稚魚2万尾)
2	1927	6月	支笏湖郵便取扱所設置(第1発電所水溜) ベニザケ卵80万粒移入(ウルモベツ湖産)
3	1928	5月17日	漁村青年団御料分団25人、恵庭岳山頂に石碑建立(恵庭岳神社)
		6月12日	昭和天皇御大典を記念して樽前山神社奥之宮建立・木造(苦民:1928年国から借地、1949年3月国払い下げ、1950年6月登記)老朽化で樽前山神社奥宮建設委員会が組織され1か月ほどでS27.8.10建替え完成。費用58万2千円
		9月	樽前山噴火 この年2回噴火(9月6日、10月25日)
		この年	ヒメマス卵10万粒(洞爺湖産)移植 ベニザケ卵70万粒移植(ウルモベツ湖産) 支笏湖虹鱒孵化場改築(2014年6月解体)
4	1929		白鱒幼魚392尾(千歳鮭鱒孵化場=米国産)
5	1930		
6	1931	5月	宇島柵舞に満願寺(曹洞宗)の水溜教会創立、初代住職国岡義教、S39年4代目斎藤隆皎死去で廃寺
		この年	国立公園法制定 漁森林鉄道(国営)敷設 河鱒稚魚184280尾(千歳孵化場)
7	1932	9月	斉藤茂吉支笏湖に遊ぶ
		この年	支笏湖保勝会活動再開(観光地化に伴う保護活動目的) 翠明閣開業(王子製紙苫小牧工場山林部宿舎)、中村組受託経営 恵庭鉦山皆川愛次郎他一名により試掘権登録、試掘始まる(鉦脈発見1930年ごろ) ヒメマス卵20万粒(阿寒湖産) ベニザケ卵13万粒(択捉、留別孵化場)
8	1933	5月	大野真澄が湖畔より20km地点で金鉦露頭を発見(美笛・舞鶴 金鉦脈第1露頭発見) 美笛モシルンピパイ上流
		8月22日	鳥柵舞道路開通式(千歳～支笏湖)
		10月1日	王子病院千歳発電所診療所開設(鈴木定一医師)～1963年8月31日閉鎖
		12月1日	樽前山噴火
			ベニザケ卵45万粒移植(ウルモベツ湖)
9	1934	4月2日	山線終点・上千歳～市街地間延長を王子製紙に請願(千歳村)
		10月	千歳飛行場完成
		この年	山線冬期間運行開始(11月下旬～5月上旬) 北海道を代表する景勝地18景に支笏湖が選定される 湖畔石垣防波堤完成(山線鉄橋～孵化場間) 中村組請負 365間、工費60350円 石材は登別産 大野真澄金鉦を中島商事(中島鉦業)に売却
10	1935	6月	4号機関車製造-小樽橋本鉄工所
		9月	中島商事(中島鉦業)・美笛金採掘開始
		10月	千歳鉦業所坑外専用軌道敷設(中村組/加藤製作所ガソリン機関車5両配置)
		この年	帝室林野局による木材直営生産開始 三〇(さんまる)通船部遊覧船第1、第2観光丸運航 千歳～中モラップ間道路完成

			<p>恵庭・光竜鉱山、藤田組藤田鉱業所が操業開始(2006年閉山)</p> <p>ベニザケ卵50粒移植(ウルモベツ湖産)</p> <p>千歳川ウグイ移植(未成魚250尾)</p>
11	1936	6月	日本鉱業、恵庭鉱山の試掘権を採掘権に転願登記して本格操業始める。(試掘採掘権取得S9年4月)
		9月	支笏湖郵便局開局(無集配3等局、水溜郵便取扱所廃止)
		10月1日	中島商事、千歳鉱山(株)創立 金採掘本格化(元山抗＝美笛坑) 名称を「千歳鉱山」とする この頃、千歳鉱山請願巡查駐在所開設(1938年から1943年は千歳鉱山巡查部長派出所)
		11月15日	樽前山噴火 この月2回噴火(11月25日)
		この年	ベニザケ卵40万粒移植(ウルモベツ湖産) 千歳自動車合資会社、千歳～中モーラップ間バス運行 北海道漁業取締り規則によりヒメマス釣り規制(解禁区設定)、釣り期間6～9月
12	1937	2月15日	烏柵舞尋常高等小学校千歳鉱山特別教授所が美笛倶楽部2階で開校、生徒35人、教師3人(認可1936年11月)
		3月27日	千歳鉱山専用線を国鉄苫小牧駅構内に敷設(山線鉱石→国鉄貨車積換用)
		10月15日	千歳鉱山尋常小学校開校(増市史では昭和10月1日)
		12月2日	千歳鉱山尋常小学校が千歳鉱山尋常高等小学校になる
		12月	支笏湖郵便局電信電話取扱開始(集配3等局昇格)
		この年	ベニザケ卵50万粒移植(ウルモベツ湖産) ヒメマス卵50万粒移植(洞爺湖産) 北海道鉄道バス千歳駅～支笏湖定期運行開始(支笏湖バス停は水明橋付近千歳川右岸) 王子軽便鉄道交換駅・六哩駅(高丘)新設
13	1938	2月7日	美笛郵便局開設(無集配3等局)
		9月7日	日独青年交歓会・ヒットラー親衛隊ユーゲント、モーラップ宿泊
		9月28日	村道支笏湖街道が地方費道昇格、千歳支笏湖線となる
		11月	支笏湖郵便局新築移転(翠明閣横)
		この年	恵庭岳西北に日本鉱業(株)恵庭鉱業所開坑 支笏湖保勝会が「支笏湖姫鱒保護協力会」に改組 三〇通船部戦時下(支那事変)燃料不足で遊覧船運航中止 千歳鉱山福神抗開発
14	1939	10月1日	千歳海軍航空隊開庁
		12月	千歳鉱山精錬所(青化製錬所)完成(250t/日)
		この年	千歳鉱山人口5000人以上、戸数約600戸 ベニザケ卵40万粒移植(ウルモベツ湖産) 千歳鉱山警防団創設(1947年4月廃止)
15	1940	4月	美笛地区に植樹用苗畑開設(当初8100平方m)
		7月	美笛郵便局局舎新築移転
		この年	ベニザケ卵10万粒移植(ウルモベツ湖産)
16	1941	2月6日	第5発電所完成(別表1参照)
		3月1日	国民学校制度施行

		12月8日	陸軍英領マレー敵前上陸、海軍ハワイ海戦(WWII参戦)
		この年	丸山神社遷座(1913年丸山中腹建立→丸山集落)
17	1942	1月21日	美笛郵便局電信電話取扱い開始
		2月	千歳鉱山 蒸気機関車2両新造(日本機械車輛、米ガソリン禁輸)
		3月1日	千歳鉱山募集朝鮮人(331人中34人)食糧増配要求の紛争発生
		5月1日	町制施行・千歳村から千歳町になる
		12月	千歳鉱山坑外軌道に芦別森林鉄道バグナル17号機ベアトリス入線御料林産材輸送(~1943年4月)
		秋	丸山遠見望楼建設(木造2階建・2階部分総ガラス張り、戦争末期防空監視所)
		この年	千歳鉱山坑内軌道改軌(ニチユ蓄電池機関車・508mm→500mm)
18	1943	4月1日	金鉱(業務)整備令実施・千歳鉱山、恵庭鉱山休山(保坑)
		8月30日	支笏湖巡査駐在所 支笏湖畔に移転(告示のみ、移転は1945年)
		この年	軍需用材増産のため陸兵230人ほか駐屯(プロペラ用マカバ) 紋別岳東斜面マカバ大量伐採
19	1944	1月1日	苫小牧町字名改稱地番整理で「丸山」新設。山線「十三哩駅」改称「丸山駅」になる
		7月2日	樽前山噴火
20	1945	7月14日	北海道空襲。米艦載機カーチスSB2C艦爆が樽前山南東斜面7合目付近に墜落、搭乗員3名死亡・1名68日間山麓潜伏
		8月15日	ポツダム宣言受諾・敗戦 海軍第2滑走路(連山滑走路)完成
		10月5日	連合軍(米軍)小樽上陸、千歳飛行場占領
		10月	支笏湖巡査駐在所移転
		11月12日	連合軍最高司令官総司令部(GHQ)国立公園等の保護、保全を指令
21	1946	5月	仮称「道南」国立公園指定促進期成会設立(美しい自然公園年表では6月)、3月説あり
		この年	千歳川に木橋架設(人道橋/現・水明橋)、それまでは現在の休暇村支笏湖国道入口辺り停留所 高橋長助、釣り船13隻新造し、戦後初めて貸舟業開始
22	1947	4月1日	林政統一で御料林農林省に移管し国有林になる
		4月1日	北海道土木現業所千歳派出所開設
		5月	恵庭営林署千歳・烏柵舞・紋別担当区事務所開設(支笏湖支所は北大生寮)
		5月	千歳中学校鉱山分校として千歳鉱山中学校開校(千歳鉱山小学校に併設)
		9月20日	支笏湖巡査駐在所苫小牧警察署から札幌警察署管内に移管
		9月23日	千歳町役場湖畔支所設置(管轄・烏柵舞全域) 1947年北大寮借上、1948年中村組配給所倉庫借上、1949年現・商店街中央、1957年現駐在所横(建設中=ユースホステル借上、1986年支笏湖市民センター)
		12月25日	烏柵舞小学校支笏湖季節分教場を北大寮内に設置
		12月	支笏湖周辺苫小牧編入問題再燃
		この年	進駐米軍翠明閣接收(接收解除はS26) 現・水明橋、自動車通行可能となる
23	1948	1月20日	烏柵舞小学校支笏湖季節分教場授業開始
		4月1日	苫小牧町に市制施行
		6月	米国立公園局チャールス・リッチー国立公園指定調査
		7月	北海道中央バスが札幌~千歳~支笏湖間で運行
		10月15日	支笏湖姫鱒孵化事業協力会設立(S35.6 支笏湖ひめます保護協力会に改称)

		この年	貸船、遊覧船業者、小村開三、小野寺寿、貫田剛吉、菱中通船部、山森三郎、加藤喜久、岡部六郎、八木勝男、佐々木広見、モーラップでは山田金治郎		
24	1949	1月	烏柵舞小学校支笏湖季節分教場が支笏湖小学校として独立開校 認可はS23.12.1 12.31現ユースホステルの地に校舎完成		
		2月18日	苫小牧市立苫小牧東小学校丸山分校開校、児童31人、校舎は営林署車庫改造		
		3月	樽前山神社、樽前山神社奥宮敷地国から購入88平方m		
		3月24日	支笏湖観光(株)設立、苫小牧8名・千歳21名発起人で300万円出資		
		4月	烏柵舞小学校に千歳中学校烏柵舞分校併置		
		5月16日	支笏洞爺国立公園指定		
		5月24日	千歳観光協会(現・千歳観光連盟)設立 当時支笏湖観光協会(支笏湖姫鱒保護協力会が発展)と並立していた		
		7月26日	支笏洞爺国立公園指定記念式典(札幌市内) 式典終了後支笏湖に向かい祝賀会、次いで洞爺湖で祝賀会		
		8月1日	支笏湖観光ホテル開業		
		8月	モーラップ野営場開設(道営) 道内最大		
		9月10日	千歳初の観光パンフレット「観光の千歳」発行		
		この年	商店地区に支所建設事務開始 米軍イチャンコッペ山頂にレーダー基地建設着工(朝鮮戦争勃発で中止) 残った骨材は高橋長助が権利を得て「松屋」(現・トントン)建設(坂野智談)		
		25	1950	2月18～19日	第1回さっぽろ雪まつり
				3月	支笏湖郵便局電話交換業務開始
4月	千歳鉦山中学校開校				
4月	王子専用バス丸山～上千歳間運行開始				
8月24日	苫小牧市道支笏湖産業道路(苫小牧～支笏湖間・現国道276号)竣工				
8月25日	苫小牧市営定期バス支笏湖線一日4往復運行				
9月23日	支笏湖畔で苫小牧歌謡発表会開催「千歳音頭」発表				
この年	千歳鉦山三菱金属鉦山(株)(現三菱マテリアル)に移管 フレナイ坑開発 千歳鉦山舳舳航用の「白銀丸」(鋼船19ト)進水				
26	1951			1月29日	樽前山噴火 この年2回噴火(1月29日、7月28日)
		4月1日	苫小牧市立東小学校丸山分校分離独立し丸山小学校開校		
		4月1日	字名改正で烏柵舞小学校が水明小学校に改称		
		5月1日	字名改正・内別から千歳鉦山までの「ウサクマイ番外地」から湖畔地区を「湖畔」、鉦山地区を「美笛」、発電所一帯を「水明郷」に変更。(千歳初の地区別人口公表)旧ウサクマイ367世帯2036人、紋別24世帯104人、水明郷65世帯303人、藤の沢17世帯72人、西森一、湖畔68世帯357人、幌美内4世帯14人、美笛176世帯1147人、モーラップ13世帯39人、西森・奥潭・支寒内一0		
		5月10日	山線廃止(全線王子専用バス運行)		
		5月	美笛に千歳町役場美笛支所設置		
		6月	北海道中央バス札幌～千歳～支笏湖定期バス運行		
		7月	開発建設部千歳出張所設置(千代田町3丁目)		
		9月	湖畔・地蔵尊地元有志建立 (現在より約200m北側、現在地への移設はS36)		
		12月	紋別岳に国家警察超短波遠隔制御中継局完成 (高橋長助「百年の歌～」ではS27)		
		この年	苫小牧営林署船入澗(いりま 防波堤付簡易船舶繫留施設)完成 苫小牧市樽前山周辺の温泉調査始める。11月モーラップ～28年、S29～錦多峰川上流(温泉沢)、S35支寒内		

			戦後、米軍に接収された翠明閣 接収解除される
			北海道漁業調整規則施行で釣り期間(6~8月)解禁区域指定(従来に美笛追加)
			富士永治「ホームラン」開業(現・支笏荘)
27	1952	7月	千歳鉱山坑外軌道撤去、鉱石のトラック輸送に切り替える
		7月	モーラップ観光道路完成(現苫小牧市道モーラップ1号、国道276号の一部)
		8月10日	樽前山神社奥宮コンクリートで建替
		8月21日	苫小牧市営モーラップ休憩所「樽前荘」建設 一般利用開始 「樽前荘」の名称はS28年から
		10月13日	支笏湖畔集団施設地区指定計画示される
		この年	国家警察紋別岳に無線中継所設置? (要覧ちとせではS26.12)
28	1953	5~7月	姫鱒孵化事業協力会硫酸、過燐酸石灰をニナル川河口に投入して施肥実施
		6月ごろ	米軍支笏湖水上訓練場設置(モーラップの沢口) 米兵利用6月末から?
		6月1日	支笏湖畔開き 支笏湖観光協会・支笏湖遊覧船組合共催 遊覧船団行列、湖上はらい、花火大会(延期)
		6月19日	厚生省・支笏湖にレンジャー配置・支笏湖着任、(事務所は千歳支所内)
		8月5日	苫小牧営林署航空機による支笏湖周辺農薬散布 1町歩当たりBHC5%粉剤14 ^{kg} 。→150町歩
		8月	苫小牧市営バスモーラップ線運行(湖畔~モーラップ)
		9月14日ごろ	樽前山噴火
		9月15日	支笏湖地区鳥獣保護区設定 恵庭岳・風不死岳山頂部を除く20358 ^{ha} 29年9月15日?
		9月20日	王子製紙第1発電所近くにヒグマ、男性・高坂富蔵(67) マキ割り中に襲われ死亡
		9月	丸駒温泉旅館土石流直撃 (佐々木金治郎談 S26年9月)?
		9月22日	公園計画 特別地域(漁岳オコタンペ地区2538 ^{ha} 、湖畔地区20115 ^{ha} 、美笛地区493 ^{ha})・特別保護地区(オコタンペ湖地区750 ^{ha} 、樽前山地区85 ^{ha})指定
		この年	支笏湖観光協会が「千歳町観光協会支笏湖支部」に名称替え
29	1954	3月	湖畔地区簡易上水道完成 給水開始(事業認可はS28.5) 計画給水人口2000人、最大配水量450 ^ト /日
		3月	千歳交通(千歳ハイヤー)支笏湖畔営業所開設(観光ホテル前)
		3月30日	千歳支笏湖線 道道支笏湖公園線として路線認定
		3月30日	支笏湖産業道路 道道苫小牧支笏湖線に認定
		4月18日	支笏湖畔集団施設地区指定 (自然保護官事務所では1957年10月1日)
		5月2日	樽前山噴火 この年2回噴火(11月19日)
		5月9、10日	低気圧による暴風雨で樽前山一帯の森林に大被害
		6月26、27日	第1回支笏湖湖水まつり開催 温泉とモーラップ2会場 千歳町・苫小牧市、千歳観光協会主催 千歳町、千歳観光協会主催初の支笏湖湖水まつり開催はS28年
		7月	支笏湖小学校現在地に校舎完成し移転
		8月	千歳町、苫小牧市に王子製紙関連の固定資産税配分を求めて認められる 342万7千円
		9月26日	洞爺丸台風(15号)により支笏湖、樽前山一帯の森林に大被害 丸山遠見望楼被害-改築 5月9日の暴風でも大被害
		この年	湖畔市街地地区を農林省から厚生省に移管(4月=宮林?)
30	1955	2月14日	樽前山噴火
		3月	北海道ユースホテル協会丸駒温泉をユースホテルに指定(道内5施設)
		4月	苫小牧観光協会・樽前山北面モーラップ側にスキー場構想現地調査
		7月	支笏湖ユースホテル開業(日本ユースホテル協会直営第1号/旧支笏湖小学校校舎)
		10月	苫小牧山岳会設立

		この年	樽前山神社奥之宮再建、現登山道できる 樽前山標高空中写真測量によって修正-1042m(ドーム) 日本電信電話公社 紋別岳山頂に東京～札幌を結ぶマイクロウエーブ中継所を設置 設備運搬のため自動車道を開削 (着工は4月) 遊覧船、清和丸50名、はやぶさ丸16名、第1つばめ丸36名、第2つばめ丸24名、第1千鳥丸22名、第2千鳥丸17名、つばさ丸7名、丸駒丸38名、モーラップ丸34名、貸しボート237隻 遊覧船貸ボート業者町の指導で支笏湖観光船企業組合創設(→1958年支笏湖企業船組合→1960年事業を北炭観光に譲渡) 増市史では1961年譲渡 恵庭森林鉄道廃止 (大正末期に王子製紙が漁川上流での発電所建設作業用に敷設。S6年に帝室林野局札幌支局が3万7000円で買収) 支笏湖観光船企業組合は道の補助金を受け、室蘭港の貨物船を支笏湖で改造し、え(ゑ)にわ丸(20t)を就航 支笏湖グランドホテル本館建設 食堂・湖月荘開業(民宿営業は1965年5月) 1957年5月?
31	1956	1月	水明中学校開校
		2月	苫小牧市の依頼で道立地下資源研究所、錦多峰川上流温泉沢で温泉試掘調査 70m26.7度 →断念
		6月	食事と休憩まつや食堂(電話5番)、それまでの貸ボートをたたんで開業(1985年3月閉店→トント)
		7月	モーラップに簡易(委託)公衆電話設置(モーラップの電話は営林署のみ)
		10月	紋別岳無線中継所運用開始
		12月	千歳スキー連盟結成(初代会長(伊藤弘))
		この年	苫小牧観光協会「湖畔の夕べ」開催(後の千歳市主催「モーラップキャンプまつり」) 支笏湖観光ホテル前で温泉試掘 300mで27度 苫小牧市、苫小牧観光協会など紋別岳に登山バス計画 現地調査6月7日 湖畔地区千歳郵便局管内になる(千歳から郵便輸送開始)
32	1957	2月	水明小学校藤の沢分校開校
		5月20日	航空自衛隊F86F戦闘機丸山地区(296林班)に墜落。乗員死亡 浜松基地から千歳基地に移駐途中
		6月1日	自然公園法施行
		8月	常陸宮正仁親王(義宮)支笏湖ご遊覧
		10月1日	支笏湖畔集団施設地区区域指定告示(増市史では1954年4月18日) 売店区0.46㍓
		この年	奥潭で初の温泉井掘削(B0 船着き場、少量自噴) 伊藤温泉ホテル開業 改築1978年6月 苫小牧市、千歳町などモーラップ～美笛観光道路構想(七合目ヒュッテから樽前・風不死鞍部を抜けて支寒内～美笛) 苫小牧市道樽前山登山観光道路開設 延長6853m 幅員2.5m林道→4.5m拡幅してバス道路 10月着工
33	1958	1月12日	紋別岳山麓南斜面にスキー場開設 (1962年2月12日高松宮殿下、支笏湖スキー場と命名)
		1月12日	第1回支笏湖回転スキー競技大会開催(第31回まで開催)
		6月9日	道営モーラップ野営場千歳町へ移管認可(移管は9月)
		6月23日	皇太子支笏湖ご遊覧
		7月1日	千歳町市制施行し千歳市になる
		7月10日	苫小牧市営バス支笏湖～七合目線定期運行(一日3便)
		11月1日	丸駒・石山間道路開通(1959年豪雨土砂崩れによって不通)
		11月12日	美笛～大滝間道路開通式

		12月	北海道立水産孵化場(現・独立行政法人北海道立総合研究機構水産研究本部さけます・内水面水産試験場)オコタンペ湖ヒメマス移植実験 交配種・支笏湖移植実験 ?
		この年	支笏オコタン荘完成(高井清治建設も、工事費未払いで建設した札幌松村組が権利取得→北海道不動産株が引き継ぐ)S35.5支笏湖グランドホテル本館、S36.7支笏湖オコタン荘・ケビン、S36.8支笏湖グランドホテル別館、S40.11支笏湖オコタン荘ケビン増設 丸駒温泉旅館遊園地計画公表、構想はS26ごろから 王子専用バス廃止 道内各地温泉乱掘問題続発、道林務部林政課の要請(市が一括泉源の保持にあたってほしい)を受け、市が湯元権利を取得し、供給することで市議会承認、支笏湖周辺の温泉開発に至る→S36千歳市温泉使用条例→S58千歳市温泉供給条例 樽前山山頂地区に硫黄採掘鉱区設定出願(平取町・大川原徳右衛門)認可されず 支笏湖企業船組合設立(旧・支笏湖観光船企業組合、1961年北炭買収解散) 「ちとせ食堂」開業(1991年に「民宿・お食事処みずうみ」に改称) 札幌営林局支笏湖南岸沿いの林道(支笏湖畔林道)丸山～美笛～奥潭間着工(完成1960年=支笏湖南岸林道)モラップ～美笛間4.8Km12月完成 着工S33 恵庭町道・林道恵庭支笏湖線開通(丸駒～石切山道路と接続)(1961年道道光竜鉱山停車場線、1982年主要道道恵庭岳公園線に昇格)
34	1959	2月1日	水明小中学校藤の沢分校開校(王子専用バス廃止のため営林署官舎借用)
		2月	支笏湖自治消防団設置
		4月1日	支笏湖小学校校章制定 開校10周年記念で同窓生にデザイン呼びかけ 考案者・福永郷正
		9月5、6日	局地的雷雨により美笛川橋梁流出及び道路決壊
		10月1日	千歳山岳愛好会設立(1980年～千歳山岳会) 前身の「千歳岳友会」設立は1954年5月 →千歳山岳連盟1969年
		この年	千歳鉱山元山・フレナイ抗休止福神沢抗のみになる 大滝駅～美笛間道路開通? 水明中学校藤の沢分校開設
		秋	苫小牧市営樽前山七合目ヒュッテ開設、七合目駐車場開設(大型バス12台) 苫小牧測候所 モーラップに樽前山火山観測所(2.5坪)完成 データは樽前荘管理者が回収して送付 道道支笏湖線舗装着手(現在の姿になるのはS41年)
35	1960	5月10～12日	湖で静振現象。水位上下運動20cmと高く札幌管区气象台などが現地調査
		5月	菱中郵船部が室蘭檜崎造船発注の「みどり丸」が完成しモーラップに陸送 幅4.2m、長さ17m、約30t、85人
		6月	支笏湖グランドホテル本館開業 別館建設はS36
		6月	樽前山七号目ヒュッテに管理人配置。初代管理人大久保定一
		7月13日	支笏湖ユースホテル新館完成(三角屋根・日本ユースホテル協会直営第1号)
		7月	苫小牧市山岳遭難救助隊結成
		7月	樽前荘一部2階建てを総2階建てに改築
		8月4日	全国リクリエーション大会支笏湖開催
		8月	苫小牧山岳会・樽前山七号目ヒュッテから風不死岳登山道開設(踏み分け道を整備、標識設置)
		9月1日	愛林緑化思想昂揚記念部分林契約締結(植樹祭会場/北海道・営林局)
		10月～11月	千歳市奥潭で温泉掘削、36m地点で最高45℃、110ℓ/分に成功(1151林班) オコタン・イ'号(同年B1、B2、B3掘削=ホテル利用はB2)
		11月	苫小牧市の依頼で道立地下資源調査所がシシャモナイ地区で温泉調査(S36年6月にも実施、S37北大に依頼)
		12月8日	水明小中学校藤の沢分校校舎新築(林野庁貸与)

		この年	支笏湖観光船企業組合は事業全てを北炭観光へ譲渡、菱中郵船部のみどり丸も北炭観光へ譲渡し、北炭観光は遊覧船部門を独立させ、支笏湖観光運輸(株)を設立。市史では1961年 北海道の樽前山避難小屋事業として樽前山山頂に避難小屋設置。(皇族使用を想定して展望台を兼ねガラス窓付、1988年撤去) 鉄筋コンクリートブロック造24平方m。工費約100万円 苫小牧市モーラップに青少年指定キャンプ場(苫小牧営林署から単年度ごとの借地、夏休み期間中)～昭和43年頃まで →自由キャンプ場 S37から 千歳市営住宅16戸建設(第2種住宅2DK)
		秋	王子別邸(支笏湖倶楽部)を商店街南西から原型のまま現在の温泉街北端に移転(離れ座敷増設)=移転完了はS36春 支笏湖畔道路完成(支笏湖南岸林道=S36道道昇格 →45年国道276号)
36	1961	3月	苫小牧山岳会冬季支笏湖一周リレー登山
		4月1日	千歳市温泉使用条例施行(施行規則の施行は1967年7月1日)
		4月1日	丸駒～石切山道路道道認定(総延長45kmのうち15kmの幅員3.5m未満で自動車通行不可)
		4月～5月	千歳市はオコタンで(1148林班)で泉源開発成功 オコタン・ロ号 (B4井掘削4月25日～5月22日 ホテル利用)
		4月	札幌市、オリンピック誘致時滑降コースを恵庭岳と内定(設定・国際スキー連盟滑降回転競技委員長ウォルフガング)
		このころ	植樹行事に合わせ王子製紙が水明郷～モーラップ間受電設備設置(1962年千歳市へ寄贈)
		5月24日	両陛下を迎えモーラップ山麓で第12回植樹行事・国土緑化大会開催 支笏湖倶楽部宿泊
		6月1日	ポロピナイ野営場開設 (初年度利用者5000人)
		6月	モーラップ野営場、厚生省国立公園整備計画で改修(電気、照明塔、上水道設備、駐車場6倍)
		7月	支笏湖オコタン野営場開設
		7月	美笛丸(54ト)進水 222人 横浜で造船 全長19.65m 苫小牧港から陸送
		8月11、12日	第3回国立公園大会開催 皇太子臨席要請も天皇皇后来道からわずかなため皇族臨席なし
		8月	モーラップの風紀乱れで苫小牧弥生中学校ポロピナイで学校キャンプ設営
		10月4日	樽前山溶岩円頂丘 苫小牧市が市天然記念物に指定
		10月23日	北大地球物理学教室七合目ヒュッテに地震記録計設置(道内初の地震観測所) この年の観測は11月中旬まで
		11月25日	湖畔地区電話自動式化即時通話化
		12月18日	苫小牧山岳遭難防止対策協議会発足(苫小牧市、苫警察署、苫山岳会、苫営林署、王子製紙苫工場、菱中興産、支笏湖観光運輸、苫小牧観光協会、苫小牧民報社)
		この年	ヒメマス卵30万粒(十和田湖産)
		夏	株式会社支笏湖観光センター設立(民間資本 貫田剛吉社長)
			札幌南高生恵庭岳でコースを間違え転落死
			道南バス洞爺湖温泉～美笛鉾山間運行開始
			支笏湖グランドホテル別館建設
			美笛～奥潭間道路開通(苫小牧営林署木材輸送事業林道＝支笏湖畔林道)
			支笏湖観光運輸 菱中興産の遊覧船事業買収 観光運輸1社体制になる。遊覧船8隻
37	1962	1月21日	苫小牧山岳遭難防止対策協議会第1回遭難救助講習会(紋別岳)
		3月	モーラップ地区7.5km ² を農林省から厚生省へ移管 集団施設地区に指定 (苫民S36.11によると1961年中)
		5月24日	植樹行事記念碑除幕式(植樹行事会場)
		6月7日	苫小牧山岳会フレ岳踏査・フレ沼調査
		7月	王子不動産千歳一支笏湖路線バス事業
		7月	キャンプ場風紀乱れでモーラップに千歳警察署臨時派出所設置 ～9月9日 (平日1人、土日2人駐在)

		7~8月	苫小牧山岳会 熊の沢など風不死岳未踏ルート調査
		8月	苫小牧山岳会 恵庭岳西沢ルート開拓 3回踏破(5~6月?)
		9月	王子製紙「鈴木梅四郎翁頌徳碑」建立(千歳川第一発電所)
		9月	苫小牧山岳会 恵庭岳未踏ルート調査
		10月8日	王子製紙・支笏湖王子研修会館竣工
		12月	湖畔地区に僻地診療所開設
		この年	支笏湖観光運輸 ボート20隻増で120隻 道青少年キャンプ村開村(千歳市教委運営) モーラップ野営場から西1.5km(S43年度で終了、7年間で延べ14000人利用) 紋別岳超短波支笏湖中継所、カラーテレビ中継機、東京~札幌間自動電話中継機設置 支笏湖観光ホテル、伊藤温泉の湯を湖畔まで引く構想→断念
38	1963	5月	水産庁シロザケ×ヒメマス交雑魚(稚魚)1万5000尾放流
		5月3~5日	第15回北海道体育大会登山部門競技大会兼第7回全日本登山大会北海道予選大会、漁岳・恵庭岳
		5月8日	苫小牧市内のカップル、樽前山山頂で結婚式
		6月15日	湖畔千歳市営支笏湖診療所落成(竣工3月) 当初の診療科目は内科
		7月19日	王子製紙苫小牧工場 軽便鉄道貴賓車、故藤原銀次郎が乗ったかごを東京・製紙博物館に寄贈
		7月21日	皆既日食観測で樽前山賑わう 東京天文台観測班が山頂で観測
		7月27日	北海道水産ふ化場ヒメマスとシロザケ交配種稚魚7000匹オコタンペ湖に放流
		8月1日	千歳市道支笏湖周辺道路奥潭側着工(道道札幌支笏湖線~奥潭)
		8月1日	米軍支笏湖水上訓練場、シリシュット正式に日本政府(林野庁から賃借。借地料年間1万5千円 面積13435平方メートル、宿泊施設17棟(米軍キャンプ場) それ以前はクマ基地関係者が個人的に林野庁から借地
		8月19日	恵庭岳滝沢F8で苫小牧の男性会社員(24)転落重傷
		8月24、25日	千歳市、千歳観光協会主催第1回モーラップ地区湖水まつり(第1回モーラップキャンプまつり)
		8月31日	王子病院千歳発電所診療所、鈴木定一医師定年で閉鎖(以後3年間ほど出張診療続く)
		8月10日	王子製紙 苫小牧市の樽前荘配電計画に合わせモーラップ地区に配電(キャンプ場以外の商店等受益は10戸)
		11月6日	支笏洞爺国立公園特別地域モーラップ山スキー場運営協議会設置(11/16?)
		11月	湖畔~幌美内間有料道路着工
		10月13日	王子製紙支笏湖王子研修会館全焼
		12月15日	千歳市と苫小牧市共同出資で国設モーラップ山スキー場開設 A、B、C3コース、リフト1基(420m)
		この年	千歳市国民休暇村誘致始まる(ポロピナイ)
39	1964	4月2日	千歳消防団支笏湖分団発足(9月小型動力ポンプ配備)
		5月15日	水明小学校閉校し千歳小学校藤の沢分校となる。水明中学校藤の沢分校廃止
		5月	支笏湖観光運輸 支笏湖畔~奥潭定期バス運行(マイクロバス)
		6月	苫小牧市青少年キャンプ村開設~S44年度まで、45年度中止
		7月2日	湖畔~幌美内間有料道路着工祝賀会(着工S39年11月)
		7月15日	王子製紙支笏湖研修会館再建落成式
		7月	水産庁シロザケ×ヒメマス交雑魚(稚魚)4万尾
		11月	モーラップ山スキー場駐車場拡張(バス50台→100台)
		12月27日	千歳市営支笏湖スケート場完成「スケート場開き」(現・第5駐車場、1周333m、中央にアイスホッケー場)S40年1月31日苫小牧と交流「スケート大会」約1千人参加。1971年度で終了(その後観光ホテル前広場に2年ほどリンク造成) 整地は第7施設大隊
		この年	恵庭町「山の会」 漁岳山頂に小さな神社建立

			北炭観光湖畔千歳川河口北岸約1千平方メートルに有料駐車場計画千歳市に同意を求める(2月?)→地元は絶対反対 千歳鉦山架空索道廃止
40	1965	2月16日	40cmの降雪で美笛地区260世帯孤立
		3月20日	札幌管区気象台の支笏湖観測所開設(市役所湖畔出張所に設けて作業で午前9時観測し電報で送信)、自動化はS52年春
		4月	洞爺支笏湖線(現国道276号)主要道道認可
		5月	千歳鉦山の湖上輸送からバス、トラック輸送への切替
		5月24日	「樹魂碑」建立(口無沼、15号台風風倒木処理基地跡)
		6月	千歳消防団美笛分団新設
		7月14日	苫小牧市営バス 樽前観光路線(支笏湖畔～樽前登山道5合目～樽前カントリークラブ)運行開始
		7月23日	支笏湖畔バスターミナル完成(苫小牧市、中央バス共同出資) 落成式は7月24日、使用開始7月25日
		8月	支笏湖グリーンホテル(芦別市「キリン」経営)開業(岩倉組買収→トムロッジ支笏湖、1980年北海交通取得→北海ホテル)
		8月	苫小牧山岳遭難防止対策協議会、苫市、苫小牧営林署など関係機関 樽前山溶岩円頂丘登山禁止打ち出す
		9月10日	台風23号による豪雨(美笛鳴尾沢住宅街で2人死亡) 操業再開までに4～5か月
		11月4日	支笏湖駐在所新築業務開始 山小屋風(敷地220㎡、木造モルタル平屋延べ60㎡→敷地277㎡、木造パネル張り平屋建て81㎡、1700万円)
		この年	水産庁シロザケ×ヒメマス交雑魚(稚魚)4万8720尾放流 札幌土現 道道支笏湖線(道道支笏湖公園線 千歳～支笏湖)舗装着手 完成1966年度 中央バス・札幌～千歳～支笏湖、千歳～支笏湖間運行 モーラップ山スキー場、オリンピックコース開設に合わせ第2リフト(550m)整備
		41	1966
3月22日	水明中学校廃校		
4月1日	千歳小学校藤の沢分校分離独立し藤の沢小学校		
7月17日	恵庭岳で落雷事故 同僚4人と登山中の千歳市男性職員(38)が山頂付近被雷して重傷		
8月	道道支笏湖公園線舗装化完了		
8月20日	集中豪雨で恵庭岳ポロピナイ沢で土石流発生。ポロピナイキャンプ場流される(テント50張のうち41張流失) 18年ぶり?		
10月7日	1972年札幌オリンピック冬季大会滑降競技会場に恵庭岳決定(第3回組織委員会)		
11月5日	支笏湖周辺の山岳遭難に備える千歳市スキーパトロール赤十字奉仕団結成(10月?)		
11月8日	樽前山七合目ヒュッテに「遭難防止の鐘」設置		
この年	温泉～モーラップ間の自然研究路約4km新設(2000年度に支笏湖温泉モーラップ線歩道工事として観察舎、案内標識等整備) 支笏湖畔で廃船となっていた旧陸軍上陸用舟艇「ダイハツ」を東千歳駐屯地兵器展示場に移送展示 支笏山岳会設立(能登正智、高田など) 北電 支寒内地区で揚水循環式発電所建設を計画(45万kw) 調査はS43年度 水産庁シロザケ×ヒメマス交雑魚(稚魚)3万2650尾、サケ稚魚10万尾		
42	1967	1月	株式会社翠明閣設立資本金1000万円(ホテルトマコマイに委託して経営)
		1月	苫小牧スキー連盟樽前山南東斜面に市民スキー場構想、現地調査
		2月3～5日	第1回とまこまいスケートまつり開催
		3月17日	樽前山溶岩円頂丘 北海道天然記念物指定
		3月31日	水明小学校藤の沢分校廃校
		4月26日	国立公園支笏湖運営協議会設立

		5月16日	王子製紙、支笏湖鉄橋(通称・現山線鉄橋)を千歳市に寄贈(ホテル翠明閣改装記念として) 贈呈式
		5月25日	政令により千歳川上流端が支笏湖呑口から美笛川(1070、1090林班)になり、支笏湖が千歳川に含まれた(下端は石狩川合流点)
		6月21～24日	第6回全道高校登山大会(当番校・苫小牧東) 支笏湖では初の全道大会開催(37校、約200人)
		6月21日	風不死岳大沢で米兵1人転落遭難 千歳山岳会、米軍憲兵隊など合同救助隊 22日未明救助
		6月	国鉄苫小牧駅 国立公園支笏湖PR観光入場券発売
		7月1日	樽前山に国内初の太陽電池電源の無線式火山性震動観測装置本格的観測開始
		7月8日	支笏湖ユースホステル増築落成式(15室80人→28室180人、浴室、食道拡張)
		7月	千歳市ポロピナイに山小屋3棟建設(10人、16人、20人用)
		7月29、30日	アマチュア無線北海道支部 樽前山で初の野外通信訓練(フィールドミーティング)
		8月31日	第七師団レンジャー訓練モラップで4人水死
		9月20日	支笏湖畔有料道路開通式(初年度営業9月20日～10月31日17261台、次年度から5月1日～10月31日)
		9月20日	道道札幌支笏湖線全線開通(=現国道453号、未舗装)
		11月12日	モラップ山スキー場スキーハウス焼失 焼死1人
		この年	札幌統制無線中継所、紋別岳道路一般車通行禁止(8月?) 水産庁シロザケ×ヒメマス交雑魚(稚魚)1万4150尾放流 水産庁シロザケ×ヒメマス交雑魚(稚魚)2万280尾放流
43	1968	6月24日	開道100年記念植樹地手入れ行事がモラップ愛林緑化思想向上記念部分林で開催(町村知事両陛下手植えア カエゾマツ付近の手入れ)
		7月4日	札幌オリンピック恵庭岳滑降コース建設許可(厚生省)
		8月7日	山三ふじや給油所 支笏湖畔に開業
		8月13日	樽前山にセスナ機墜落
		8月31日	天皇皇后両陛下来道支笏湖王子倶楽部に宿泊 9/1お手植えのアカエゾマツ視察(宿泊に合わせ現在の位置に移設)
		9月19日	札幌オリンピック恵庭岳滑降競技場起工式
		10月10日	奥潭でB5井掘削(10月10日～12月2日、1969年7月に追掘)
		11月8日	千歳市山岳遭難救助隊発足結成式 札幌地方山岳遭難防止対策協議会苫小牧支部から分離して設立
		この年	苫小牧～支笏湖間舗装完成(=道道苫小牧支笏湖線 1970年7月 国道276号に昇格) 支笏湖プリンスホテル設置厚生省認可 着工? 札幌市常盤～幌美内自転車道着工(完成S46年度秋) 国土地理院支笏湖水深調査(1967～68) これまでの363mから360.1mに訂正 苫小牧市立図書館 文化財整備計画で道天然記念物樽前山ドームに標柱を設置 支笏湖定期観光バス札幌まで夏季運行 道道支笏湖公園線沿い100mを千歳風致保護林に指定 支笏湖地区青年会「恵岳会」結成 長尾? 千葉信一、
44	1969	5月	支笏湖商交会設立(会長・千葉進、15人) 第1回=解散時期不明
		5月30日	千歳市水難救助隊発足
		6月9日	シシャモナイ沖で、釣り船3艘が高波をかぶって転覆 1人死亡、6人救助 湖畔、モラップ、美笛、丸駒に非常用サイレン設置
		6月15日	ホテル支笏湖鹿の湯開業
		7月1日	中央バス、札幌～ポロピナイ～支笏湖、千歳空港～支笏湖間運行 1日9往復

		7月1日	支笏湖観光運輸(支笏湖観光バス)札幌五番館～支笏湖間、湖畔～ポロピナイ・シシャモナイ間運行 1日3往復
		7月12日	千歳交通支笏湖畔営業所落成式(以前は観光ホテル前だったが駐車場整備で移転)
		7月14日	事故多発で道道支笏湖公園線・苫小牧支笏湖線T字路交差点(現・国道453号西森交差点)に直進禁止看板
		8月28日	ヒグマ出没第1発電所で老婆事件発生 小寺リセさん1人死亡(吉村昭著「熊撃ち」題材 1979年、筑摩書房)
		10月	市道支笏湖周辺道路・道道札幌支笏湖線～奥潭間道路車両通行可能になる(道道支笏湖線昇格は1970年3月31日) 11月説あり
		11月1日	モーラップ米軍支笏湖水上訓練場、日本政府に返還
		12月20日	青年の家支笏湖青少年研修センター開設
		この年	支笏湖畔に「ツツジの遊歩道」計画 5か年計画 この年70本植樹、45年300本 48年100本 千歳市国民休暇村誘致再開 美笛トンネル開通(延長335m)
45	1970	1月	モーラップ山スキー場に夜間照明
		2月6日	道道支笏湖線供用開始(道道認定1970年3月31日)
		2月8日	全日本冬季競技総合大会(プレレオリンピック)滑降競技が恵庭岳で開催
		2月23日	南七条林道改線で第1縦断林道に改称(13701m)
		3月16～20日	雪害 道道洞爺支笏湖線全線不通 3月16日砥石沢で苫小牧営林署員雪崩で行方不明
		3月31日	市道支笏湖周辺道路・支笏湖畔林道が合わせて道道支笏湖線に認定
		4月1日	道道苫小牧支笏湖線、ほか3路線とともに苫小牧～倶知安間国道276号昇格
		4月7～9日	低気圧による大雨で有料道路路面決壊(6月から片側交互通行するも料金徴収せず)
		7月21日	千歳観光協会法人化認可 社団法人千歳観光連盟発足 (設立総会7月29日)
		10月	樽前山登山歩道設置 展望園地(テーブル、ベンチ)、木製階段247段約700m、柵、案内板など
		10月	札幌の女性(28)、恵庭岳で転落死
		10月25日	支笏湖郵便局現局舎新築完成 谷本局長自費で建設完成(2019年胆振東部地震で被害、2019年11月解体)
		12月24日	苫小牧東高校山岳部樽前山10年間清掃活動で苫小牧市長から感謝状
		この年	国道276号丸山～モーラップ間舗装完成(10月) 市のごみ収集無料化に合わせ支笏湖地区に囁託清掃員設ける 小野寺寿 支笏湖局の電話ダイヤル自動即時化(湖畔に無人トレーラー設置)市外局番012325- 10月? 札幌地方山岳遭難防止対策協議会 苫小牧市山岳遭難救助隊 樽前山と風不死岳に登山道標識設置～46年 美笛にガソリンスタンド設置(千歳鉦山など) 夏 千歳市山岳遭難救助隊自衛隊と初の総合訓練 苫小牧山岳連盟結成(青雲山岳会、国策パルプ山岳会、王子製紙山岳会) 支笏湖畔公共駐車場舗装(4500平方m、乗用車170台) 湖畔～幌美内間第1～第6覆道建設
46	1971	2月5日～10日	札幌国際冬季スポーツ大会(プレオリンピック)滑降競技恵庭岳で開催
		5月24日	遊覧船「恵庭丸」(65.5ト)進水226人 オリンピック観戦者湖上輸送用
		6月	北海道電気通信局 支笏湖巡査駐在所に災害用「超短波無線電話」設置
		7月1日	環境庁発足(2001年1月6日環境庁改組、環境省設置)
		7月	湖岸に車両転落防止用の木柵設置
		10月	千歳市美笛地区に防災資材庫設置(木造モルタル平屋、32.4平方m)

		この年	札幌から有料道路終点間舗装完了(道道札幌支笏湖線=現・国道453号) 地蔵尊現在地に移設 札幌・支笏湖自転車道全線開通(札幌市常盤～幌美内) 道道札幌支笏湖線～奥潭舗装完了 支笏湖汚染防止対策として、簡易浄化施設の設置、集水管渠路線切替? 千歳市国民休暇村誘致改めて展開(候補地幌美内地区) 苫小牧市丸山地区に横断歩道、園地に遊具を設置 苫小牧(丸山)～モーラップ間舗装完成 恵庭丸226名、美笛丸222名、みどり丸85名、白銀丸50名、第1樽前丸32名、快速艇12隻、貸しボート705隻
47	1972	2月5、7日	札幌オリンピック滑降競技恵庭岳で開催(札幌オリンピック2月3～13日)
		5月	道、ヒメマス取締りの千歳市職員3人を漁業監督公務員に任命
		6月10日	支笏湖プリンスホテル開業 温泉は伊藤温泉から引湯
		7月1日	支笏湖レイクサイドホテル開業
		12月	千歳観光連盟、運輸省から許可、千歳空港駐車場営業開始
		この年	丸駒温泉旅館の電話自動化 湖畔のごみ捨て場廃止 美々に搬送となる 中央バス、札幌～道央自動車道経由～支笏湖間運行 秋(11月?) 恵庭岳オリンピック顕彰碑設置 札幌オリンピック組織員会設置→1987年8月千歳市へ寄贈
48	1973	3月12日	樽前山でスノーモビル登攀実験 300cc、350cc、440ccの3台
		5月17日	恵庭岳第1見晴台付近で白骨化した男性遺体発見(自殺と判明)
		9月8～9日	千歳、苫小牧、室蘭、伊達4市の山岳遭難救助隊初の合同救助訓練風不死岳で開催
		9月30日	支笏湖プリンスホテル火災・重軽傷者10人
		10月7日	支笏湖集団施設地区区域変更(国民休暇村建設の為)
		10月	ヒメマス親魚捕獲、これまでの刺し網からたて網に変更
		11月	消防団支笏湖分団に消防ポンプ車1台配置
		この年	支笏湖観光客入込200万人突破 218万5千人 市営住宅建設(1種3DK)10戸 自転車道設置のため水明橋拡幅工事 2か年度工事 車道8m、幅2mの歩道橋 開発局国道276号美笛に除雪基地新設 口無沼、風景林に指定
49	1974	1月	恵岳会湖畔駐車場に一周200mのスケートリンク造成
		4月4日	温泉管理の支笏湖観光事業共同組設立(支笏湖観光ホテル、鹿の湯、翠明閣、トムロッジ支笏湖、レイクサイドホテル) 組合負担の温泉探査73年7月30日から開始(道温泉探査事務所) 温泉掘削工事開始3月6日、温泉湧出祈願祭3月6日 7月湧出
		5月25日	支笏湖プリンスホテル 再建工事を終えて再開
		6月	王子製紙発電所員、苫小牧から通勤
		7月	湖水まつりで支笏湖小学校鼓笛隊初パレード
		8月	「支笏湖を守る会」(若林義昭会長)設立 地元若者を中心に市内の会社員などがメンバー
		9月	千歳市消防署支笏湖分遣所新庁舎完成
		9月	支笏トンネル完成(995m) 砥石山トンネル
		10月	ヒメマスに尾ぐされ病(水カビ病)が発生し、大量に岸に打ち上げられる(原因不明) (別表2参照)

		別表2	
		1974	尾ぐされ病発生
		75	全面禁漁(内水面魚場管理委員会指示)
		76	6、7月解禁(委員会指示)
		77	6～8月解禁 尾ぐされ病再発
		78	7、8月禁漁、6月のみ解禁、釣竿1人2本制限(委員会指示)
		79	6～8月の3ヶ月間禁漁(内水面魚場管理委員会指示)
		80	全魚種の6～8月の3ヶ月間禁漁(委員会指示)
		81	全魚種の6～8月の3ヶ月間禁漁(委員会指示) 支笏湖漁業組合設立
		82	撒き餌禁止 釣竿1人2本制限(委員会指示)
		10月	環境庁「支笏湖集団施設地区詳細計画」告示
		10月17日	支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター開所式 オープンは21日(11/1?)
		この年	苫小牧～支笏湖間自転車道着工(旧山線跡地利用) この年はハイランドスポーツセンター～高丘霊園850m
50	1975	4月30日	支笏湖畔に温泉(第1源泉)・通湯式、湧出39℃純重曹泉(天然ガス加盟5ホテル使用開始) 支笏湖観光事業協同組合による通湯開始は5月1日
		5月1日	千歳市・ポロピナイ休憩所設置(支笏湖観光センター)木造2F建て S36年建設老朽化で建替え (株)支笏湖観光センター運営で入居 ポロピナイ園地設定は49年度
		5月18日	HBCテレビ「うちのホンカン」シリーズ放映開始～1981年12月(大滝秀治、八千草薫出演)全6作。支笏湖舞台は「ホンカンがんばる うちのホンカン-PART II-」(1976年10月19日)、「嘆きのホンカン うちのホンカン-PART III-」(1976年7月11日)、「冬のホンカン うちのホンカン-PART IV-」(1977年3月13日) モデルの佐藤威彦巡查部長S43着任～
		6月	支笏湖レイクサイドホテル増築完成(32部屋増→52部屋)
		6月	支笏湖老人クラブ発足(60歳以上、33人) 以前は「支笏湖畔老人クラブ」 湖畔の地蔵尊清掃と法要ボランティアで始める (それまで支笏湖自治振興会が法要)
		6月1日	支笏湖自然の村開村(6～9月) オリンピック跡施設
		6月1日	支笏湖ヒメマス水カビ病発生で全面禁漁～1978年
		6月30日	王子製紙山岳部員1人風不死岳で転落重傷
		10月	「休暇村連絡橋」完成→「湖畔橋」 休暇村園地周遊道路(130m2本、250m1本)完成
		10月22日	オコタンペ湖で女性の水死体発見
		10月25日	地蔵尊で初めて遺族を招いて法要(支笏湖振興会、支笏湖畔老人クラブ主催)
		10月	苔の洞門保護活動で千歳山岳会の田澤昌樹氏、10年間の活動で環境庁自然保護局長表彰
		12月28日	支笏湖観光事業協同組合 温泉を天然ガスで加熱給湯を開始 約41度→約47度
		この年	道道支笏湖線美笛橋架け替え工事完成コンクリート製永久橋 S48の増水で木橋が壊れ以後仮橋 札幌営林局「レクリエーションの森」で「支笏湖風景林」を指定 5月?
51	1976	4月5日	支笏湖小初めて新入学児童1人 荘司雅代
		4月7日	水カビ病発生以降捕獲親魚払下入札 ヒメマス保護協力会落札 1 ^キ 390円 12000匹
		4月	千歳鉱山鉱石(黄銅鉱)入りライターとキーホルダー製品化、空港で売り出す
		4月	苫小牧市高丘～モラップ自転車道着工
		5月7日	道立支笏湖野鳥の森オープン 道内2番目、道立は初 千歳川～中モラップ約100 [㍎] 、観察路1544m、野鳥観察舎、休憩所、案内看板など

		6月4～9日	風不死岳ヒグマ出没、風不死事件発生(4、5日2人重傷、9日2人死亡1人重体) 風不死岳入山禁止、樽前山徒歩登山禁止解除は、千歳市10月、苫小牧市はS52年6月
		6月	千歳市初めてヒメマスボート置場10カ所設定 解禁6～7月
		6月～10月	樽前山七合目ヒュッテ駐車場初のマイカー規制。今シーズンはバスと一般車駐車場所区分、手前50m区間は駐禁、400m区間左側駐禁、
		6月2日	ヒメマス釣ボート高波で転覆2人不明
		6月13日	恵庭岳ボロピナイ登山口に安全登山祈願碑建立除幕式 (元御料青年団有志/記念式典・プリンスホテル) 第1回山開き
		8月4日	歌手・安倍律子を招いて遊覧船で初の湖上パーティ(支笏湖観光運輸、支笏湖2代目会主催)
		9月27日	支笏湖畔国民休暇村着工式
		11月	七合目ヒュッテ2代目管理人に苫小牧の高井羨一氏決まる(初代大久保氏は五月に死去)
52	1977	1月20日	支笏湖観光事業協同組合主催「冬の支笏湖」写真コンテスト開催(募集3/31まで、発表湖水まつり当日)
		2月5日	室蘭、千歳、苫小牧三市合同初の冬山遭難救助訓練実施 樽前山
		4月24日	第1回支笏湖湖水開き、メイン行事・地元青年4人の「歴史の再現いかだ流し」=松浦武四郎「夕張日誌」記述の奥潭→湖畔筏渡り (これまでは6月1日に支笏湖神社で安全祈願祭など)
		4月	札幌管区气象台支笏湖畔観測所自動化 (手動設置はS40.3.20、場所は千歳市湖畔支所)
		4月	千歳市支笏湖をPRする初めての記念スタンプ国鉄千歳駅案内所に設置 直径8cm 樽前山と支笏湖をバックにクロロリ配置
		5月7日	幼児(5歳)湖畔鉄橋(山線鉄橋)から転落、助けようとした男性(22)とともに水死。この事故で千歳市が橋に金網を設置。歩道橋への改修はS55年6月
		6月	樽前山七合目ヒュッテに初の統一標識(樽前山案内板) 千歳市、苫小牧市、環境庁
		6月7日	山三ふじや ヒメマスの氷漬けを作り鹿児島市丸屋デパートへ空輸(デパート北海道物産コーナーに展示)
		7月23日	国設美笛野営場開設式(苫小牧営林署が昭和45年から野営場として計画、施設整備し完成したため、千歳市に管理委託。開設は7月17日)
		8月	有珠山噴火
		8月1日	ヒメマス保護事業所新築完成使用開始 (以前の施設はS47年、プレハブ)
		9月	地蔵尊新しいお堂完成(支笏湖老人クラブ)
		9月19日	支笏湖畔国民休暇村開業(全国28番目、道内初) 開村式は9月22日 事業費3億6000万円(付帯工事含)
		9月	支笏湖自然の村廃村決定(3年間利用者4962人、1978年7月解体)
		10月	北海道開発局室蘭開発建設部丸山地区自転車道を日本軽金属苫小牧工場の赤泥でカラー舗装
		10月16日	第1回支笏湖紅葉まつり開催 人出2万人
		10月27日	紋別岳で山火事 鎮圧28日 6㈬焼失
		10月30日	千歳市立鉦山小・中学校閉校
		11月15日	千歳鉦山職住分離完了(雇用促進住宅真町宿舍入居)
		11月30日	美笛支所廃止
		11月	冬場の観光客誘致で千歳観光連盟、支笏湖温泉旅館組合、支笏湖商交会、支笏湖観光事業協同組合 道内観光キャラバン隊始まる
		12月	千歳消防団美笛分団廃止
		12月	苫小牧市七合目ヒュッテにスノーモバイル配置
		12月21日	道道丸駒線供用開始
		この年	北大支笏湖寮取り壊し (S10～11年ころ 千歳村宿泊施設として建設→S14ころ北大に貸与) モラップ山スキー場の雪付をよくするため防風林造成 苫小牧市、千歳市、支笏湖観光3者がそれぞれ75万円、バックス松2250本、第2リフト・ファミリーコース周辺 (7月?)

53	1978	1月11日	千歳消防団美笛分団解団式
		2月14日	「湖水開き」「湖水まつり」「紅葉まつり」「温泉と氷濤まつり」の4実行委員会をまとめて「支笏湖まつり実行委員会」に一本化
		2月、3月	支笏湖全面結氷(支笏湖ヒメマスふ化場記録・2月19日～3月24日) 1953年以来 苦民 2月=2月18日結氷が始まる、19日全面結氷(2月23日陸自ヘリ上空から確認)、24日強風で割れる
		3月12日	苦小牧日赤無線奉仕団 初の冬期樽前山～恵庭岳通信訓練
		3月31日	千歳市立鉾山小・中学校廃校
		4月24日	第2回湖水開き 遊覧船による湖上安全祈願でヒメマス放流、かぎ投入始まる
		4月25日	支笏湖ヒメマス釣魚対策協議会設立総会
		4月	ヒメマスボート置場指定で遊漁船主ら8業者による支笏湖ボート協同組合設立(1992年解散 ヒメマス不漁のため)
		5月14日	樽前山小噴火(A火口から火山灰噴出、山腹に降灰、22時53分～23時36分苦小牧測候所) 苦小牧市樽前山登山全面禁止、千歳市七合目より上禁止したが6月7日全面禁止 この年7回小噴火(5月17日、8月8日、12月12日、12月16日、12月26日、12月29日)
		5月	国土地理院倶楽湖調査(5/24～1週間)で、湖底に溶岩円頂丘確認
		5月	苦小牧営林署279林班(丸山)にシロエゾマツ1000本造林実験 3年生の苗(約30%)
		6月1日	ヒメマス解禁日、強風で釣り船6隻転覆1人死亡1人不明
		6月21日	伊藤温泉ホテル改築オープン 和室12室、60人収容グリル、大広間 改築披露6/26
		6月	CBSソニー・ラプリーズ「紅すずらん」の伝説」発売・平尾昌晃作曲 千歳市、千歳観光連盟、地元で計600万円で依頼
		6月	温泉配湯 観光ホテル、トムロッジ支笏湖、翠明閣、レイクサイドホテル、休暇村、王子研修センターにユースホテル、営林署湖畔荘が加わり9施設
		7月30日	潜水訓練中の苦小牧男性(33)行方不明 8/1発見
		8月1日	樽前山噴火で休止していた登山バス七合目ヒュッテまで運行再開
		8月4日	オコタンペ川河口付近で千歳の中学生水死
		8月17日	環境庁の依頼で道立教育研究所齊藤實、苔の洞門コケ調査
		9月1日	樽前山大噴火を想定した道内初の苦小牧市の火山噴火総合防災訓練実施(電気通信総合防災訓練は9月28日)
		10月15日	美笛郵便局閉鎖 業務終了は14日正午
		11月1日	七合目ヒュッテに無線施設設置
		12月27日	第1回氷濤まつり入魂式・安全祈願
この年	支笏湖ビジターセンター展示の二重根、丸山地区(339林班)で見つかる(9～10月?) 市営住宅6戸建設(3DK浴室付) 入居12月(当初10戸計画も公園計画による住宅区域による制限で6戸のみとなる) 青少年研修センターとフレンドシップセンターの食事料金改定で同一料金になる 5月20日の成田空港開港に伴う過激派対策で紋別岳登山禁止処置～10月ごろまで 電電公社、営林署		
54	1979	1月30日	第1回千歳・支笏湖氷濤まつり開催～2月11日(竹中敏洋氏指導) 滑り台の氷は口無沼から切り出し 作品引き渡式は1/25、花火は2回開催から
		1～5月	樽前山小噴火 4月樽前山登山規制、5月登山禁止
		3月28日	樽前山小噴火で七合目ヒュッテ当分の間閉鎖(日中のみ管理人派遣) 5月20日からは管理人引き上げ。パトロールのみ
		4月	支笏湖神社を駐在所東側に遷す。最初は山線鉄橋南側の崖を登った中間地点にあったが1957年に海軍航空隊の社殿を譲り受けて旧ビジターセンター横広場に遷された
		5月11日	丸山遠見望楼新築(木造4階建高さ13m)竣工式
		5月12日	樽前山小噴火、支笏湖畔で微量の降灰観測(千歳市支所報告)
		5月25日	支寒内地区(1030林班)で山火事 26日鎮火 4ha焼失
		5月	口無沼干上がる。(沼の水位低下はM42年の樽前山噴火時にも記録あり)

		6月14日	空沼岳山麓(恵庭営林署55林班)イチイ2本(大きい方幹周4.2m、樹高13m) 恵庭市民会館前に移植
		7月1日	自然公園美化管理財団支笏湖支部設立
		7月25日	支笏湖畔駐車場有料化(当初は環境庁所管地のみ、道整備の河岸の駐車場は無料)
		8月10日	支笏湖に千歳警察署の警備艇「こぶし」配備、進水式(湖沼への警備艇配備は道内初)
		10月	苫小牧営林署美笛川右岸苗畑(美笛事業所)閉鎖 11.4ha (苫小牧営林署の苗畑閉鎖に伴い千歳市に跡地利用について打診あり、検討)
		12月	モーラップ山スキー場開場以来初のPRポスター制作
		12月21日	環境庁「支笏湖集団施設地区詳細計画」の「売店区では共同店舗化以外の増改築は認めない」を変更 (増改築開始は55. 11月、18店舗中4店舗)
	この年	夏	ポロピナイキャンプ場管理人事務所新築(以前はプレハブ、シーズン終了後撤去) 木造モルタル45平方メートル 簡易水道施設拡張工事完成(新給水計画では S62の定住人口450人、観光客5500人 給水量1300立方メートル/日) 中央バス、札幌～ポロピナイ～支笏湖～千歳空港間運行 モーラップ野営場失火 イチャンコッペ山反射板設置(北海道開発局) 松竹「男はつらいよ 翔んでる寅次郎」シリーズ第23作公開(渥美清、倍賞千恵子、マドンナ=桃井かおり)ロケ地・支笏湖
55	1980	3月4日	支笏湖電話交換局の市外局番変更「012325」→「01232・5」 湖畔、美笛、幌美内、苫小牧市丸山の計195台
		4月1日	千歳山岳会設立
		4月18日	紋別岳林間スキー場基礎調査結果公表 林間コース、ポロピナイへのツアーコース、ロープウェイ、展望台など
		5月1日	支笏湖自然科学館(支笏湖ビジターセンター)開設 (着工54.9.20)
		5月9日	漁川ダム竣工式(千歳川水域総合開発事業の一環としてS49年着工)
		5月	北海交通支笏湖北海ホテル開業(トムロッジ支笏湖を買収)
		6月9日	環境庁全国天然湖沼透明度調査結果公表 ①摩周湖35.8m②倶多楽湖28.3m③支笏湖、青森県赤沼18m、(緑の国税調査S53～54年度、S48年度に次ぎ2回目) ※1926年度調査では支笏湖25.0m
		6月	山線鉄橋(湖畔鉄橋)歩道橋に改修(S48休暇村への湖畔橋完成で一部を除き車両の通行を禁止し歩行者専用)
		6月	千歳～支笏湖(桂木～水明橋22km)地下電話ケーブル設置完了
		8月11日	大阪市の男性(24)、恵庭岳ポロピナイ沢に転落、13日救助
		10月5日	苫民創立30周年記念 支笏湖マラソン(苫小牧市営球場～丸山)
		11月	環境庁自然公園施設整備事業完成、園地野外ステージ、湖畔散策路舗装、公衆トイレ水洗化、テーブル付ベンチ7基など(着工はS54年秋)
		12月	モーラップ山スキー場に人工降雪機導入(道内初導入) 12/10納入 12/13から稼働
	この年		環境庁支笏湖自然保護官事務所建設(支笏湖駐在所横、2009年消防出張所横に移転新築) 千歳市美笛苗畑跡地利用計画まとめる 苫小牧営林署「七条大滝」命名 高16m、流幅2.3m、流量12493立方メートル/1日 ユープさっぽろ(協同観光)支笏湖レイクサイドホテル買収、同じ名称で営業開始
56	1981	2月27日	樽前山小噴火
		2月	第1回モーラップ山スキー場まつり
		5月	水産庁さけますふ化場千歳支場拡張工事のため場内のサクラ伐採
		6月16日	支笏湖姫鱒孵化事業協力会(会長伊藤照正)解散、支笏湖漁業組合(組合長東峰元次)設立
		6月21日	恵庭市・能登誠、会田さよ恵庭岳山頂で結婚式(ともに恵庭山岳会)
		7月1日	支笏湖ユースホテル別館新築営業開始 (着工は55.9、落成式6.29)

		7月4日	支笏湖畔駐車場(第5)有料化
		7月5日	第1回千歳日航ポピュラー・マラソン林道コースで開催(当初道道支笏湖公園線での開催を計画したが交通事情で変更)
		8月	2度の豪雨で有料道路欠陥など被害(五六台風) 8月19日で湖面水位1m上昇=第1堰堤計測)
		9月	盤尻・アイヌのクマ送り場を苫小牧市青少年センター・佐藤一男学芸員らが初めて調査(盤尻に3ヵ所?) 恵庭市文化財保護委員会の調査は10月26日
		9月20日	苫小牧市街地～丸山間自転車道17.4km完成し一般開放(オープン記念試乗会は10月10日)
		10月	堂垣内知事5年後の先進国首脳会議支笏湖開催を政府に要請
		11月	自然探究路中モラップ～モラップ約2*。整備完了(湖畔～モーラップ間約4kmのうち55年度までに湖畔～中モラップ約2km整備済み)
		この年	美笛鉦山OB会「美笛会」「鉦親会」合同第1回ふるさと会開催 滝笛環境資源振興協議会発足(平成元年4月解散)
57	1982	3月7日	支笏湖小学校新校舎落成式(授業での利用は2月22日)
		3月12日	白老山岳会設立総会(会長・金子利一)
		3月31日	苫小牧市立丸山小学校閉校(記念碑序幕 12月1日)
		4月	丸駒商店・グリルまるこま新装オープン
		4月26日	千歳市泉沢養魚場(チップの里)開場 ヒメマス供給のため
		5月	美笛食堂(旧・千歳鉦山配給所、S55年開設)開店 S61ドライブインとして増築 H2業務委託で「自然の里・美笛」
		6月1日	ヒメマス釣り3年ぶり解禁
		6月6日	千歳文化財保護協会主催「千歳川源流の溪谷を歩く会」開催 ネッソー～第1発電所 市民49人参加
		7月9日	初の湖上ディナーショー 「湖のコンサートを開く会」主催、美笛丸船上約100人参加
		9月14日	国道276号滝笛トンネル貫通式(1545m) 美笛峠新ルート開通は1984年10月 工事安全祈願祭S54.8.13
		11月27日	支笏湖ビジターセンター入館者50万人
58	1983	5月30日	道のヒメマス監視船「第2いしかり」配備 強化プラスチック製、艇長5.24m、幅2.32m、重715*。
		5月31日	文部省「測地学審議会」がまとめた「第3次火山噴火予知計画」で樽前山が重点火山になる。十勝岳、駒ヶ岳なども追加
		6月	イトヨ確認(モラップ) サクラマス確認
		6月12日	美笛三哩の沢「熊送り」場で北海道ウタリ協会千歳支部による熊神慰霊祭 千歳市教委の調査6月
		6月17日	ヒメマスボート転覆 札幌の男性(40)死亡、札幌の男性(50)行方不明
		7月1日	樽前山登山規制解除(1978年5月小噴火以来禁止) 札幌の田中光夫(37)山頂で連風250枚(長崎屋苫小牧店主催)
		7月15日	千歳観光連盟 支笏湖観光情報テレホンサービス開始
		7月	モーラップキャンプ場に千歳市内2番目の身障者用トイレ完成(第1号は青葉公園)
		7月9日	市泉沢養魚場ヒメマス初出荷
		6～7月	休暇村園地でクマガラ営巣
		8月	千歳市苔の洞門に略図入りの案内板設置
		8月10日	支笏湖下水終末処理場(支笏浄湖苑)通水式 供用開始8/1(湖畔地区特定環境保全公共下水道事業認可S52.3、着工S53.12)
		10月2日	ホロホロ山登山道開き(白老山岳会中心に開削)
		10月	苔の洞門に仮設駐車場
		12月	湖畔支所、東部支所にファクシミリ・システム設置
		この年	支笏湖グランドホテル本・別館休業 解体は1992年 植栽後返地 道道札幌支笏湖線冬期試験開放(9～17時)～2月15日まで

			道設支笏湖紋別岳鳥獣保護区、同特別保護区設定 紋別岳の北東斜面地425㊦、このうち頂上北側の49㊦が特別保護区(2003年3月更新、次回更新2022年9月30日)		
59	1984	1月31日	道(胆振支庁)音頭で「樽前山周辺市町防災連絡協議会」発足		
		2月	休暇村にスケートリンク完成(20×30m) 自前のリンクは全国32休暇村で初		
		3月19日	苔の洞門運営協議会設立 千歳市、環境庁、苫小牧営林署、自然公園美化管理財団(現在・自然公園財団)、千歳観光連盟、千歳文化財保護協会の6団体 管理人を配置して開放を6～10月とする。		
		4月14日	支笏湖畔有料道路無料化		
		4月27日	支笏湖全面に薄氷張る		
		5月	苫小牧営林署丸駒林道新設工事		
		5月15日	竹中敏洋、氷濤まつり、氷瀑まつりの造形樹氷著作権を主張して札幌地裁に著作権侵害差止等請求 →和解成立 1994年2月17日		
		5月27日	道道支笏湖公園自転車道線全線22.8km開通記念式。市民サイクリング大会(S50年着工)		
		8月～9月	室蘭土木現業所苫小牧出張所、道道樽前錦岡停車場線3ヵ所(モラップ側入口、5号目分岐、口無林道分岐)にゲート新設		
		9月15日	モラップ沖で水上スキーのモーターボートから苫小牧の男性(35)転落し行方不明		
		10月	苫小牧山岳連盟設立10周年記念(結成S45年5月)で樽前山山頂にアルミ板の山頂標識を設置。風不死岳山頂にはS57年に設置していたが噴火騒ぎで遅れた。		
		10月5日	国道276号美笛峠新ルート開通式		
		10月24日	千歳市内電話番号2桁移行		
		10月29日	北海道水質審議会湖沼の環境基準にリンと窒素の類型指定答申。支笏湖AAなど6湖		
		11月	休暇村園地展望台完成		
		この年	支笏湖観光客59年度入込初めて260万人超 第3セクター滝笛環境資源振興協議会設立(千歳市、大滝村、日本航空、日本楽器製造)		
		60	1985	2月	地蔵慶護「盤尻物語」自費出版(千民連載S595.18～11.23まで17回)
				3月29日	環境省「名水百選」に「ナイベツ湧水ー支笏湖湧水」を選定(第2次選定)
				4月18日	滝笛環境資源振興協議会解散
6月1日	ヒメマス釣ゴムボート使用規制始まる				
6月	支笏湖温泉旅館組合考案初の温泉まんじゅう「ひめますの宝」販売開始 10個500円、18個1000円				
7月5日	レストラン「藤よし」開店				
7月	道道支笏湖線、オートバイ事故多発で速度制限のためオコタンペ湖展望台付近の道路改装				
7～8月	支笏湖自然科学館(支笏湖ビジターセンター)に開館5周年記念バードウォッチングコーナー完成(展示は全てバードカービング)				
8月7日	支笏湖自然科学館(支笏湖ビジターセンター)入館者100万人				
9月	休暇村園地にゲートボール場造成				
11月1日	北海道営林局道産材PRで建設した苫小牧営林署支笏合同担当事務所新築披露(3棟)				
11月	苫小牧市営バス樽前登山線廃止 園地整備 商店街前の園地、科学館脇の野外ステージ近くに東屋2棟、科学館から湖岸坂道斜面擁壁、園路舗装2ヵ所など				
11月20日	恵庭市柏木に道立水産孵化場札幌市豊平から移転開設				
この年	千歳市「美笛国際森林レクリエーション事業構想」策定 水産庁道さけますふ化場千歳支場新資源造成事業で支笏湖ヒメマスからのスモルト美々川などに放流 苫小牧観光協会樽前山登山記念バッジ製作				

			支笏湖観光運輸水中メガネ付手漕ぎボート考案		
61	1986	1/1～2/23	温泉旅館組合「支笏湖温泉劇場」開設・チビツ玉三郎 観光ホテル大広間		
		2月24日	千歳鉦山休山式		
		3月24日	運輸省、札幌・支笏湖地区を「国際観光モデル地区」に指定 全国15地域		
		3月29日	支笏湖市民センター(湖畔支所→支笏湖支所)竣工		
		4月20日	道内初の2階建てログハウス・「ログベアー」オープン		
		4月20日	「湖畔」から「支笏湖温泉」に字名変更		
		5月18日	樽前山の自然を愛する会発足		
		6月1日	中央・道南バス直行バス(新千歳空港～美笛～洞爺湖温泉)運行		
		6月8日	オコタンペ湖南側で山火事 約4㍓焼失		
		7月24日	丸駒温泉旅館新改築1期工事完了(2期工事完了1963年7月) 開業70周年記念日に合わせ新館落成披露パーティ		
		8月24日	風不死岳大沢で苫小牧の女性(39)F2で滑落死(上流から下へ2つ目の滝)		
		10月	恵庭岳オリンピック顕彰碑維持管理問題顕在化(1987年10月千歳市スポーツセンターに移設)		
		10月1日	設定者が国から道に移行するに伴う支笏湖地区鳥獣保護区設定(支笏湖を含む千歳市域の22228㍓) 期間20年間		
		この年	札幌五輪恵庭岳滑降コース復元事業終了(終了届け受理は平成元年3月) 樽前山登山道、荒廃で新登山道整備(七～八合目) このころ樽前山に非在来種コマクサ違法移植		
		62	1987	1月	千歳観光連盟 氷濤まつりに合わせて初のオリジナルテレホンカード発売 50度数千円、1000枚
				2月15日	支笏湖レイクサイドホテルで集団食中毒(22人、原因はウェルシュ菌)
3/20～4/6	支笏湖温泉旅館組「東北味覚まつり」 ホテルごとに県ごとの味を提供				
3月	七合目ヒュッテに苫小牧市山岳遭難救助隊が購入したスノーモビルを苫小牧市管理で配置 (更新H3.3)				
4月	苫小牧市在住の画家・能登正智さん版画集「志古津湖昔絵本」出版(版画集8作目)				
5月	苔の洞門 国道276号改修工事、駐車場整備でとこけ養生を名目に今年度開放なし				
7月11日	NTT千歳電報電話局 支笏湖湖水まつりに合わせ同局初めての支笏湖観光テレホンカード2種類発売				
9月13日	第11回全国育樹祭お手入れ行事開催(支笏湖・モラップ) 皇太子殿下妃殿下出席				
12月	札幌五輪顕彰碑千歳スポーツセンターに移設展示				
この年	環境省、公共水域水質測定結果初公表 支笏湖日本一(1987、1988、1992、1993、1995、1999、2000、2002、2007～2017) 「美笛国際森林レクリエーション事業構想」から「支笏湖国際コンベンション・リゾート構想」に名称変更し、大規模開発を図る 国際会議場構想 山陽国策パルプ(現日本製紙)健康保険組合「支笏湖畔荘」開設				
63	1988			1月	「支笏湖の水とチップの会」発足
		4月	ホテル翠明閣 時速100㍓の高速全天候型モーターボート「トムキャット23」型 船名「SUIMEI」、支笏湖観光運輸時速100㍓高速艇「ギャラクシー」導入		
		4月	支笏湖まつり実行委員会が、氷濤まつり実行委員会を一本化し、4まつりを全て支笏湖まつり実行委員会主催とする※4実行委員会はS53年に統合したが、氷濤まつりについては開催広告等に「氷濤まつり実行委員会」を使用→経緯は不明		
		5月	松竹映画「椿姫」(松坂慶子主演)オコタン、市内などで野外撮影 5/3まで		
		6月	樽前山七合目ヒュッテに自動車電話の無線電話設置(以前は防災無線と消防無線を使用)		
		6月15日	千歳鉦山「大山神社」ご神体を千歳神社に移す		
		7月	丸駒温泉旅館新改築2期工事完了。1、2期工事で木造から鉄筋造り地上2階地下1階、大浴場(男女同スペース)		

		8月	樽前山避難小屋撤去
		9月17日	樽前山でパラグライダー飛行(初飛行?)
		10月	支笏湖小学校 約30年間にわたる清掃活動が63年度観光地美化実践者等に対する道知事感謝状を受ける
		10月10日	支笏湖紅葉まつり中止 支笏湖まつり実行委員会代役で大入袋「おたのしみ袋」発売(5000円) 昭和天皇9月19日病状悪化に配慮して全国的にイベント自粛
		11月1日	市消防支笏湖分遣所勤務体制改善 消防車1台職員1人、本部応援1人の2人体制→職員4人による臨日勤務
		この年	苔の洞門入場179939人 千歳市、昨冬まで国立公園支笏湖運営協議会に委託していた温泉街除雪業務を市直轄とする 支笏湖温泉～幌美内間第7覆道建設
64(平成元年)	1989	1月8日	昭和から平成に改元
		3月	苫小牧営林署 日本体育協会 札幌オリンピック滑降コース復元工事「終了届け」受理
		4月	支笏湖国際太鼓発足(寺島健三代表) 寺島代表が観光ホテルでの「人情芝居」の太鼓に魅せられて呼びかけ
		4月7日	旧千歳鉱山選鉱場全焼(木造、延べ1000㎡) 4/4からの解体作業中
		4月30日～5月8日	樽前山溶岩円頂丘東南亀裂岩壁が大規模崩落
		5月	苫小牧営林署 口無沼に遊歩道整備 幅1.1m 延長1.1*
		6月24日	札幌の大学生(21)オコタンペ湖で水死
		6月28日	北海道さけますふ化場千歳支場新庁舎落成
		7月8、9日	支笏洞爺国立公園指定40周年事業として湖水まつりとモーラップキャンプまつりを合併開催
		7月31日	ちとせタウンフラッシュ主催湖上コンサート「ダルムシュタット・札幌アンサンブルとワインの夕べ」開催
		9月5日	NTT千歳営業所 苔の洞門駐車場に赤公衆電話設置(10/31まで)
		9月11日	第44回国民体育大会(はまなす国体)石狩支庁管内大会旗・炬火リレー採火式、支笏湖畔で行われる
		9月	苫小牧営林署 美笛の滝、苔の洞門、恵庭岳登山口に名所看板設置
		10月3日	国道276号モーラップ切替開通(モーラップ商店街を迂回)
		この年	モーラップ山スキー場老朽化でリフト運休(H2からロープトローで営業) 支笏湖畔バスターミナル改修工事(11月開始) 待合室の改善、外装を白系 屋根を茶系 美笛食堂(旧・千歳鉱山配給所)廃業 苔の洞門入場者18万1000人 最高 苔の洞門に臨時公衆電話設置(6月?)
2	1990	3月16日	スウェーデン国王丸駒温泉宿泊
		4月10日	支笏湖商交会再立ち上げ(2回目)
		4月11日	支笏湖観光船レストハウス増築新装オープン
		4月29日	苫小牧啓北中学校生徒3人、千歳川小型船舶係留場でトロッコ遊び中水死
		4月	親水広場整備完成(工事は前年秋から)
		7月	北海道営林局「森林倶楽部」イベント「樽前山麓の滝めぐり」のため七条大滝歩道整備(含・丸山遠見の滝)
		7月	千歳市、苔の洞門初の単独パンフレット、記念スタンプ作成
		8月1日	支笏湖小学校、支笏湖周辺美化活動で環境庁長官賞受賞(1989年=全国森林レクリエーション協会会長表彰、1988年=北海道知事賞)
		8月17日	降雨で市道湖畔1号道路、湖畔橋から約100m付近で路肩が崩れ通行止め
		9月	旅亭「あしり支笏湖」営業開始
		10月20日	支笏湖ビジターセンター入館者200万人

		10月26～28日	環境庁、支笏湖地区で初めてのパークボランティア養成研修会開く 35人受講
		11月1日	美笛食堂(美笛総業経営)を北海道物産センターに業務委託、新装改築で「自然の里・美笛」として営業
		11月	千歳市林野庁の国有林内空間総合利用整備事業計画に乗ってマスタープラン提出(ヒューマン・グリーン・プラン)
		12月1日	樽前山、無意根山車馬等乗入規制地区指定(スノーモービル対策)
		12月	札幌土現千歳出張所、幌美内チェーン着脱場にソーラーシステムの照明灯設置
		この年	協同観光(コープ札幌経営)レイクサイドホテル買収 「支笏湖国際コンベンション・リゾート構想」を「支笏湖美笛地区自然環境整備利用計画」に名称変更。その後、反対意見があり、構想を中止
3	1991	2月	気象庁恵庭岳を活火山に指定 活火山定義を過去2000年以内の噴火に変更し追加 支笏湖観光運輸・八木勝男、自費で支笏湖の四季を紹介するビデオ作製
		3月29日	支笏湖診療所新庁舎落成
		4月	自然研究路、休暇村～モラップ間整備完了2.5*。? 千歳市泉沢養魚場・近藤実 ヒメマス出荷用「格子型水中選別器」で科学技術庁創意工夫功労者表彰受賞 支笏湖観光運輸 4隻目の高速艇「フェニックス」導入 進水式4/29
		5月	林野庁森林生態系保護地域に漁岳南斜面を指定
		7月20日	湖水まつりに代わりロングラン花火大会「花火の支笏湖」開催～92・7
		7月20日	花火の支笏湖で「千歳・支笏湖温泉太鼓」お披露目(寺島健三代表、8人)
		7月27、28日	全道サイクリング大会(千歳開催は11年ぶり2度目) 28日に支笏湖往復
		8月1日	消防署支笏湖温泉分遣所、出張所昇格
		8月	苫小牧観光協会売店バスターミナル内に開店
		8～9月	口無沼で金魚騒動
		9月	丸山遠見望楼改修完成開放 前回新築はS54
		10月5日	第5回ツールド北海道第5ステージ支笏湖地区
		11月11日	支笏湖漁業組合のチップ燻製発売
		この年	支笏湖地区パークボランティア連絡会設立 紋別岳道路入口坂ロードヒーティング設置
4	1992	1月27日	千歳市職員漁業監視員・小野寺信和、近藤実 ヒメマス保護の功績で道知事感謝状
		3月末	支笏湖ボート事業協同組合解散
		4月	「支笏洞爺国立公園支笏湖地区・自然解説マニュアル」完成 PVなど解説員用 丸駒温泉旅館に従業員宿舎用のログハウス完成(2階建て483㎡) 丸駒温泉旅館 クルーザー「丸駒Ⅲ世」湖上クルージング始める ニューゼaland製14m
		5月3日	千歳鉦山神社新社が千歳神社内に完成 (S62年閉山に当たりご神体は千歳神社に合祀していた)
		5月	樽前山七号目ヒュッテ駐車場公衆トイレ新設開放 登山道新設に合わせ展望広場設置 (工事はH3年度、完成1月) 休暇村園地でクマガラ営巣(3年ぶり) モラップに「ミニ宿カフェLAPLAND」開業 (3室定員15人)
		6月6日	支笏湖観光ホテル新本館「湖水館」オープン 特別室1、和洋スイート4、洋室4、和洋室32 カラオケルーム、総定員230人
		7月20日	八木勝男 長年の支笏湖遊覧船運営に尽力と運輸大臣表彰受賞
		8月	支笏湖ビジターセンター展示改修で新しいジオラマ連動の画像システム設置 (屋根大規模改修は1993年3月)
		8月5日	第34回自然公園大会開催 常陸宮殿下同妃殿下出席(丸駒温泉宿泊)

		8月	ユースホステル竹内康弘ペアレント環境庁自然保護局長表彰(自然公園指導員として19年間)
		9月	支笏湖老人クラブ「自然公園関係功労者」として道知事表彰受賞
		10月	支笏湖グランドホテル廃止、解体始まる。植栽返地は1993年
		この年	支笏湖畔国民休暇村で「朝の自然観察会」始まる。厚生省外郭団体長寿社会開発センター「生きがいと健康づくり推進事業」 気象庁アメダス、支笏湖小学校グラウンドに設置
5	1993	この年	恵庭鉦山休山? 樽前山火山噴火災害総合監視体制整備事業開始
		4月1日	道道札幌支笏湖線国道453号に昇格
		4月1日	休暇村モーラップキャンプ場管理千歳市から受託
		7月10、11日	湖水まつり復活(第43回) ※千歳では第45回と表記
		7月12日	北海道南西沖地震で恵庭岳岩塔北西面一部崩落 千歳市によると岩塔崩落はS56の台風水害以来
		7月	自然公園美化管理財団支笏湖支部・佐藤謙三 自然公園指導員(S57.10～)環境庁自然保護局長功労表彰受賞
		10月	支笏湖観光事業協同組合「美肌の湯」PR用初の組合パンフ作成
		11月1日	支笏湖ヒメマス移植100年・養殖ヒメマス出荷10周年記念祝賀会開催
		12月1日	苫小牧市営バス支笏湖線、中央バスに移譲(2001年休止、2002年廃止)
		この年	「支笏湖美笛地区自然環境整備利用計画」の一部として、「千歳市野営場整備計画」を策定
6	1994	1月	現・支笏湖温泉第5駐車場トイレ改築(身障者用設置は温泉街では市民センターに次ぎ2カ所目)
		1月	幌美内に現在のトイレ設置(開放は4月) 旧トイレは1980年設置
		2月17日	竹中敏洋著作権裁判和解成立 和解金、原告メッセージ1995～10年間会場に掲示など
		3月	温泉街歩道カラーブロック化完成(着工は93年12月)
		4月8日	支笏湖まつり実行委員会、病気療養中の伊藤弘二に代わり八木勝男が実行委員長
		5月23～30日	支笏湖漁業組合ヒメマス資源増殖対策でカナダ視察
		6月13日	カヌーでの釣り中に転覆し、千歳の男性(72)死亡
		7月17日	モーラップ沖で水上オートバイ2台が衝突千歳の男性(33)死亡 支笏湖内沖で水上オートバイが遊泳中の男性に衝突し重傷
		7月	プレジャーボート問題でモーラップ自由キャンプ場車両乗り入れ規制始まる
		7月	樽前山噴火防災で「樽前山火山ハザードマップ」完成 千歳市、恵庭市
		8月5日	美笛キャンプ場でキャンプ中の千歳の中学生(14)水死
		8月12日	恵岳会25周年記念写真展「支笏湖オールディズ写真展一ツカシコツ再発見」VCで開催。9月末まで
		9月10日	千歳市サーモンパーク「千歳サケのふるさと館」開館
		11月	環境庁H5年度公共用水域水質測定結果公表 支笏湖COD0.7mgで全国第1位(前年度も第1位で2年連続)
		11月	支笏湖温泉湯量減少で千歳市温泉調査
		12月5日	水産庁さけ・ますふ化場千歳支場「さけの里ふれあい広場」開設記念式
		この年	温泉街、駐車場、歩道に排水溝設置(10月～)、園地西側展望台設置工事 環境庁 第4回自然環境保全調査結果公表(1991年度実施)支笏湖の透明度17.5mで前回と同じ全国4位、1位は摩周湖 モーラップ山スキー場休止
7	1995	2月	支笏湖温泉西側園地展望台完成
		3月	支笏湖温泉中層市営住宅完成 入居受け付けは3月15日から
		4月	モーラップ自由キャンプ場進入規制実施

		4月	いとう温泉創業(伊藤温泉を買収)
		4月16日	キングレコード「支笏湖慕情」湖水開きで発表、苫小牧出身の歌手・美咲じゅん子デビュー曲
		5月	苫小牧山岳会 樽前山火口原内のケルン撤去(1996年9月にも実施) ?
		5月5日	水上オートバイの苫小牧夫婦水死
		5月28日	恵庭カレッジ・アクショングループ 車椅子で紋別岳登山(車椅子12人、ボランティア約70人)
		7月	東宝「キャンプで逢いましょう」公開、後藤久美子主演、ロケ地美笹野営場 10月7日公開
		7月	支笏湖温泉入浴剤「支笏湖の湯」売り出し→湖水まつりに合わせての販売
		8月21日	支笏洞爺地域の公園区域及び公園計画見直(再検討)、支笏湖集団施設地区区域変更 1953年国立公園指定以来(支笏湖地区面積29344→29852㍓)、白老岳～ホロホロ山と湿原地帯が普通地域から特別地域への格上げ
		9月8～10日	「支笏湖の水とチップの会」・高知大湖最深部調査(96年にも実施)
		9月	水産庁さけますふ化場と北大の共同研究でヒメマスに発信機を飲み込ませて行動調査
		9月	丸駒温泉旅館80周年記念誌完成 佐々木社長スエーデン王室に支笏湖の絵(金崎秀利利作品)献上
		9月	玉川大学教育環境研究部 支笏湖小で「子供と環境」テーマに調査
		9月15日	支笏湖温泉旅館組合初の通年キャンペーン「支笏湖さわやかキャンペーン」始まる
		10月14日	千歳ヒメマスフォーラム開催(カナダ政府海洋漁業省ジョン・ストックナー氏講演、JALホテル)
		11月	支笏湖まつり実行委員会 病気の八木勝男委員長に代わり佐々木金治郎氏就任
		12月	温泉街に身障者用電話ボックス設置(千歳市内2カ所目)
		この年	北大 坑道による樽前山観測施設設置工事(約200m) 完成は96年秋 美笹キャンプ場、苫小牧営林署から千歳市へ譲渡
8	1996	1月	初めて氷濤会場で氷像制作過程を写真パネルで紹介
		3月	環境庁園地環境整備で身障者用ブース付きの北側トイレ(中央トイレ)設置 ビジターセンター前のトイレ撤去
		4月1日	北海道営林局漁岳周辺地域森林生態系保護地域設定 漁岳南斜面はH3.5に設定
		4月1日	「支笏湖畔国民休暇村」が「支笏湖畔休暇村」に呼称変更
		4月14日	支笏湖温泉初の身障者用ブース備えたトイレ開放(中央トイレ・通称丸駒トイレ)
		4月	ホテル翠明閣高速モーターボート「SUIMEI-1」導入 12人乗、最高時速100*。
		6月28日	恵庭営林署初の育樹祭＝グリーンフェスティバル＝(283林班)
		6月	ポロピナイ展望台からのイチャンコッペ山登山道完成(95年ごろから開削)
		6月	苔の洞門第1洞門入り口付近の崩落防止の為 ダイナマイト、ドリルで岩盤除去 開放は1週間遅れの6月8日
		9月5日	王子軽便鉄道4号機関車帰郷式(静態保存・苫小牧王子アカシア公園) 4号機関車と客車の2両、東京「紙の博物館」からアカシア公園に到着は9/2
		9月21日	恵庭岳ポロピナイ沢25年ぶりに大規模土石流(前回1941年)
		10月14日	温泉街国道453号横断歩道に温泉街初の押しボタン式信号機設置
		10月	北大理学部が樽前山南西斜面に建設していた「総合火山観測坑道」完成 総延長128m 道内最大規模
		11月1日	千歳市の魚制定(ヒメマス、サケ)
		この年	環境庁「自然体験活動拠点」(エコロジーキャンプ)指定でモーラップキャンプ場再整備始まる～1998年度 林野所管地6.6㍓環境庁へ移管
9	1997	4月	丸駒温泉旅館2代目クルーザー「シュー・ユングフルン(湖の乙女)」導入 1995年建造、9.5m、乗客10人
		5月30日	「千歳市民の力で育てる支笏湖の森林」行事で休暇村と湖畔にエゾヤマザクラ50本植樹

		6月20日	支笏湖温泉旅館組合 本州から取り寄せたアジサイ約100本を湖岸に向かう遊歩道沿いに移植
		7月13日	湖水まつりイベントとして初の「'97支笏湖カヌー&カヤック横断レース」開催 モラップ～幌美内
		7月21日	支笏湖温泉～苔の洞門定期バス運行 7月21～9月下旬 中央バス一日2便
		8月10日	恵庭岳ポロピナイ沢で土石流発生 この年2回発生(9月27日)
		10月7日	ラルマナイ林道改良完成し道道恵庭岳公園線ルート切り替え
		10月	道道支笏湖線国道276号～美笛野営場分岐間舗装
		11月	美笛沖、マグロの頭騒動(釣りのため?→回収廃棄)
		11月	道道支笏湖線美笛～奥潭間土砂崩で通行止め→2019年現在継続
		11月22日	「山線鉄橋」開通式(1995年から旧・支笏湖鉄橋解体修理)
		12月3日	千歳市支笏湖支所開設50周年を祝う会
		12月	千歳市観光施設条例一部改正で 美笛野営場が美笛キャンプ場に改称
		この年	千歳市道湖畔1号道路改修(元王子製紙管理道路453号へ直結) 完成は1998年 モーラップキャンプ場千歳市から環境庁へ移管、休暇村支笏湖運営 通称「モーラップ」から字名「モラップ」に改称 看板等の変更は1999年4月
10	1998	2月	高知県南国市奈路小学校児童支笏湖小初訪問「雪国体験」(6月に支笏湖小児童奈路小訪問) =交流は1996年から
		4月1日	千歳市観光施設条例改正し、野営場使用料を印紙徴収から「現金」徴収になる
		4月	休暇村温排水公共下水道と接続、温泉地区排水完全処理完了
		5月28日	環境庁、胆振支庁など、樽前山火口原のケルン撤去 100基以上
		6月6日	「支笏湖とチップの会」設立10周年シンポジウム(札幌)
		7月25日	環境庁・文部省「子どもパークレンジャー」第1回 (全国11ヵ所)
		8月11日	千歳市ヒメマスふ化場開設(水産庁より譲渡)
		9月10日	水上バイクの影響でバイカモ群落消失との情報で千歳市、札幌土現千歳出張所が米軍キャンプ場沖で調査
		9月	北海道セルラー、デジタルツーカー北海道の携帯電話無線中継所完成、サービス開始
		12月16日	千歳市道湖畔1号道路改修工事完成し開通。国道453号と直結
		12月	道道支笏湖線(16号)水明郷の中央分離帯完成
		この年	国道453号札幌～幌美内24時間通行可 休暇村地区に上水道管、給水タンク設置 完成で支笏湖温泉地区すべてが上水道利用となった 美笛キャンプ場リニューアル完了(5カ年度計画)
11	1999	1月11日	支笏湖レイクサイドホテル休業(2001年11月解体)
		2月	氷濤まつり会場に「氷濤寒暖計」設置
		3月1日	林野庁国有林事業改革で、恵庭営林署→石狩森林管理署恵庭森林事務所、苫小牧営林署→胆振東部森林管理署苫小牧事務所、(2001年8月1日に廃止)
		3月26日	支笏洞爺国立公園指定50周年事業開催のため「支笏洞爺国立公園連絡協議会」設立、関係16道市町村(事業終了後は情報、意見交換の場となる)
		4月	「支笏湖畔休暇村」が「休暇村支笏湖」に呼称変更 休暇村を湖畔簡易水道給水地区に編入し給水開始(以前は地下水による自家水道)
		4月12日	支笏洞爺国立公園指定50周年事業開催のための地元組織「支笏洞爺国立公園指定50周年事業支笏湖実行委員会」設立
		5月24日	国立公園支笏湖運営協議会植樹祭で、市道支笏湖1号道路沿いにサクラの苗木50本植える
		6月	道道16号水明郷の「道路気象情報システム」運用開始
		6月29日	モーラップ樽前荘新装建設工事完成し「完成式」

		7月10日	支笏湖洞爺国立公園指定50周年記念フォーラム開催
		7月30日	千歳川放水路計画中止決定
		8月24日	山線鉄橋千歳市有形文化財指定
		8月	風不死岳北尾根登山道完成(1998年ごろから南支笏7号林道途中から開削と旧登山道整備)
		9月	カフェ・アウル開店(苫民では11月)
		10月	ポロピナイ沢治山工事完成 ダム20基、空堀水路
		11月12日	千歳観光連盟 道道支笏湖公園線(16号)の愛称「支笏湖スカイロード」決める
		この年	樽前荘改築して木造2階建てログハウス風になる 国立環境研究所地球環境研究センター 丸山国有林1197林班に41mと26mの観測タワー設置 観測開始は2000年5月(H16年9月の台風18号で倒壊) 休暇村遊歩道「ウッドファイバー舗装」978m 山線鉄橋への階段改良 休憩舎、東屋新設
12	2000	2月9日	樽前山火山防災会議協議会(=樽防協、事務局・苫小牧市)設立 千歳市、苫小牧市、恵庭市、胆振東部6町など36団体
		2月20日	旅亭あしり休業
		3月31日	有珠山噴火
		4月1日	環境庁地区事務所変更 西北海道地区国立公園・野生生物事務所→「西北海道自然保護事務所」、支笏湖管理官事務所→「支笏湖自然保護管事務所」
		4月	休暇村園地建て替え2階建展望台開放
		4月	環境庁休暇村園地の休憩施設完成 木造一部2階建、総床面積178平方メートル 利用は5月から
		4月	ホテル翠明閣休業
		4月26日	支笏湖美化センター開館
		4月27日	休暇村リニューアルオープン
		5月	千歳市調査船「新千歳」配置、全長7メートル幅2.5メートル、150馬力の船外エンジン(1984年配置の「ちとせ」老朽化による更新)
		8月6日	環境庁「自然公園クリーンデー」に初めて一般の募集ボランティア参加
		9月	緑のダイヤモンド計画(自然公園核心地域総合整備事業)基本計画策定・公表
		9月	「支笏湖畔バスセンター」営業終了(解体開始9月25日)
		12月12日	恵庭岳公園線・恵庭トンネル共用開始(恵庭市内初のトンネル)
		この年	1999年4月に新道に切り替えられた道道恵庭岳公園線通年通行化 日本製紙健康保険組合「支笏湖畔荘」閉鎖(1987年開設)
13	2001	1月6日	中央官庁再編で環境省発足
		1月	支笏湖温泉旅館組合公式HP開設
		2月1日	発達した低気圧の影響で大雪、国道453号温泉～幌美間で16カ所雪崩(直接原因は斜面のシカ横断)
		2月	支笏湖全面結氷 23年ぶり(2月15日～4月10日?)
		3月	自然公園核心地域総合整備事業(緑のダイヤモンド計画)基本計画公表
		3月	千歳市、苫小牧市 モーラップスキー場の再開凍結合意(閉鎖合意はH17年)
		3月	樽前山火山防災マップ作成(樽前山火山防災会議協議会)
		3月16日	支笏湖小学校卒業式、児童自主制作+崔洋一監督編集指導「支笏湖の宝物」上映 映画作りは2000年11月から
		4月2日	千歳市消防署支笏湖温泉出張所新築落成
		4月	支笏湖温泉農水省所管地環境省へ所管替え(ビジターセンター裏苫小牧営林署跡地約6000平方メートル)
		6月1日	胆振東部森林管理署苫小牧事務所 4代目の「丸山遠見望楼」一般開放 3代目と同じ規格高さ13m 工費約1600万円
		6月5日	苔の洞門岩盤崩落発生全面閉鎖

		6月	千歳市産業振興部農林振興課 千歳市HPにヒグマ出没情報掲載を始める
		6月	千歳市教委・久原直利 日本昆虫学会英文機関誌に道内トビケラ新種7種を発表。うち1種は支笏湖発見
		7月1～3日	支笏湖小学校児童TV「モグモグゴンボ」収録で沖縄県池間島池間小学校訪問。02年2月24、25日池間小児童支笏湖訪問
		8月1日	千歳市内の胆振東部森林管理署所管地が石狩森林管理署に所管移行
		8月10日	恵庭岳山頂部登山規制(2013年に自粛要請になる)
		8月～10月	環境省「グリーンワーカー事業」小野寺昌道(ブルーノート)が湖底清掃
		10月11日	緑のダイヤモンド計画温泉地区整備、駐車場改良に着手
		10月15、16日	支笏湖で初のブラックバス調査(道立水産ふ化場)
		12月	小野寺昌道さん支笏湖新確認のヌマチチブ、オヒルムシロ環境省へ報告
		秋	丸山遠見望楼新築(4代目) 道産杉材使用
		この年	樽前山火山噴火災害総合監視体制整備事業 紋別岳中継局完成
14	2002	1月5日	支笏湖まちづくりプロジェクト結成
		1月	氷濤まつり会場で氷濤あめ新発売 2日で売り切れ(当初500個、追加2000個)
		2月	旅亭あしり休業(6月定山溪第一ホテルへ譲渡)
		2月20日	支笏湖漁業組合設立20周年記念講演会と祝賀会開催
		5月15日	樽前山火山防災会議協議会「樽前山火山防災計画」策定
		5月	樽前山より噴出物を確認(5月)
		5月	樽前荘、オリジナルアイス「北海道限定」売り出し(2003年にハスカップシロップの新タイプ発売)
		5～11月	環境省緑ダイヤで山線鉄橋南側の護岸石垣組み替え 長さ約140m、幅5m
		6月1日	支笏湖ビジターセンター改築のため休館
		7月1日	自然公園美化管理財団支笏湖支部が自然公園財団支笏湖支部に改称(支笏湖美化センター→支笏湖畔パークハウス)
		7月20日	苔の洞門入口に観覧台設置・暫定開放始まる
		8月6日	米軍キャンプ場跡地閉鎖ゲート設置
		9月	樽前山火山噴火災害総合監視体制整備事業美笛中継局完成
		9月1日	支笏湖第一寶亭留翠山亭オープン
		10月10日	支笏湖まちづくりプロジェクト ストリートギャラリー開催～10/31
		11月28日	奥潭の無許可棧橋放置資材札幌土現千歳出張所撤去
		この年	国土地理院 樽前山西ピークに「火山変動リモート観測装置」設置 8月？ 支笏湖地域花調査グループ(佐々木幸夫代表) 支笏湖温泉園地と野鳥の森園路、紋別岳調査(2003年ガイドマップ『支笏湖の草花、木の花』作成)
15	2003	1月	苫小牧市道モーラップ1号線氷濤まつり期間中開放始まる
		1月	支笏湖漁業組合 限定100本の支笏湖産ヒメマス燻製発売 1本1000円
		1月12日	火山噴火予知連絡会は「概ね過去1万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」を活火山と定義
		2月	国道453温泉～幌美内間のポロピナイ覆道完成
		3月	支笏湖小学校長年の1978年からの清掃活動で「セブンイレブンみどりの基金」50万円の助成 お揃いの作業着
		3月	支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター閉所
		4月	「緑のダイヤモンド計画」親水広場開放(山線鉄橋南側元千歳鉱山支笏湖東埠頭スベリ) 完成は2002年11月
		4月26日	奥潭で山菜取りの男性(70)転落死
		5月4日	丸駒温泉旅館初のオリジナル日本酒「初太郎」発売
		5月	千歳の自然保護協会・美笛巨木の森調査 幹周1m以上巨木54本 最大幹周233cmハルニレ

		5月	支笏湖観光センター太平山碑に社建立 (千民によると大正4年に発見)
		6月	開発局シーニックバイウエイで、モラップ国道453号矢羽根撤去試験
		7月5日	支笏湖ビジターセンターリニューアルオープン (増改築工事 H14.5~15.7)
		7月	樽前山より噴出物を確認
		9月2日	支笏湖自治振興会「自主防災会」結成
		9月14日	台風14号による倒木がテントを直撃し美笛キャンプ場で1人死亡、2人負傷
		9月	苔の洞門ネイチャーセンター完成 (開放は2004年6月から)
		9月20日	「しこつ湖自然体験クラブ・トゥレップ」設立
		10月13日	神奈川の釣り人 イトウを1匹(64cm)釣る。12月道立水産ふ化場のDNA鑑定で宗谷管内猿払村周辺のオホーツク海側の生まれと判明
		11月	千歳市、紋別岳～イチャンコッペ山トレッキングルート調査
		11月	加森観光が三井観光開発から支笏湖観光運輸の全株取得
		この年	千歳市が千歳観光連盟脱退で騒動 樽前山火山噴火災害総合監視体制整備事業モラップ中継局完成、札幌土現千歳出張所監視支局設置
16	2004	1月	支笏湖まつり実行委員会氷濤まつり会場で「感動支援金」呼びかけ始める(この年2、055、689円)
		1月	大雪で旧有料道路沿いの山腹にエゾシカ急激に増加
		2月	消防署支笏湖温泉出張所に救急車配備
		3月	丸駒温泉旅館大浴場改修工事のため3月1日から45日間休業(4月21日再開)
		7月	支笏湖フォト・ファンクラブ発足
		8月1日	NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ活動開始 支笏湖ユースホステル運営受託→2007年3月撤退
		8月	千歳市山岳遭難救助隊 風不死岳北尾根、イチャンコッペ山、紋別岳に登山者名簿設置(恵庭岳夏道と滝沢は設置済み)
		9月8日	台風18号支笏湖周辺森林大被害・支笏湖温泉孤立、停電
		10月1日	苫小牧測候所無人化
		12月	千歳市、苫小牧市モーラップスキー場廃止に正式同意
17	2005	1月	国道453温泉～幌美内間のモンベツ覆道完成
		3月15日	支笏湖青少年研修センター閉所式(1969年12月開所)
		3月20日	恵庭岳北尾根で雪崩1人重傷
		3月	北海道開発局の呼びかけで「シーニックバイウエイ北海道推進協議会」設置 5月に支笏洞爺ニセコルート指定
		4月	エゾシカの食害で、道胆振森づくりセンターが、モラップ地区で食害防止の保護材(被害防止ネット)を設置(千歳市モラップ部分林、アカエゾマツ約1000本)
		4月10日	支笏湖水中遊覧船運航(営業)開始(支笏湖観光運輸)「エメラルド」(18ト)、 「サファイア」(17ト)
		6月	丸駒温泉旅館創業90周年で、同旅館協会の「エーデルワイスの会」が前庭にサクラなど17本植樹
		6月25日	道の駅「サーモンパーク千歳」オープン
		8月	特定外来生物ウチダザリガニ確認 小野寺昌道
		9月6日	日本海上空で訓練中の2空団F15戦闘機空中接触し、燃料タンクの一部が紋別岳山中に落下
		9月	支笏湖まちづくり機構Neoステージの「支笏湖シーニックシャトルバス」運行 10日間
		11月15日	「猪苗代湖・支笏湖水環境交流会」が丸駒温泉旅館で開催
		11月下旬~12月29日	支笏湖地区でエゾシカ有害駆除始まる
		この年	「樽前山火山活動時における初動対応検討会」(座長・新谷融北大名誉教授)発足 道、苫小牧市、千歳市、白老町など
18	2006	1月28日	Neoステージ氷濤まつり期間中の土曜日に「雪あかりの散歩道」

		2月	公園計画変更・支笏湖動力船規制要綱発表(環境省2月20日公示) 千歳市の動力船規制承認船受付3月15日～4月20日
		2月5日	支笏湖ビジターセンター入館者400万人セレモニー
		2月19日	千歳山岳会氷濤まつり会場でアイスクライミング披露
		3月	恵庭・光竜鉦山閉山
		4月16日	支笏湖観光センター(ポロピナイ休憩所)火災により閉鎖
		4月29日	丸駒温泉旅館直営レストラン「メール」オープン
		5月15日	支笏湖小学校 野生鳥獣保護・思想啓発で北海道社会貢献賞受賞伝達式
		5月	自然公園財団支笏湖支部アライグマ捕獲調査始まる～2012年2月(11月から環境省グリーン・ワーカー事業)
		6月	自然公園財団支笏湖支部、英語版「ハンディガイド」12月1000部とDVD作成
		6月	支笏湖観光センター代替売店、食堂プレハブでオープン
		7月23日	支笏湖観光センター初の「支笏湖チップまつり」開催
		8～10月	Neoステージ「支笏湖シーニックシャトルバス」運行(第1便8月26日)
		9月	環境省支笏湖自然保護官事務所によるウチダザリガニ駆除開始
		9月17～26日	セブーンイレブン緑の基金「支笏湖周辺台風災害・復興も森づくり」で植樹、千人以上参加(3ヵ年度で10万本植樹目標)
		9月末	支笏湖小学校大規模改修完了(教室と講堂外壁塗装、床張り替え、屋根の板金塗装と防水工事)
		10月	支笏湖ビジターセンター外国人向け「i」案内所指定(道内8番目)
		10月	樽前山で登山道無断拡幅発覚 千歳の男性自然公園法違反容疑で書類送検(12/8)
		10月25, 26日	スเปイクキャストの元チャンピオン英国人、イワン・ゴードンを講師にフライキャストスクール開催
19	2007	2月16,17日	氷濤まつり会場で、氷の楽器を使った「アイスコンサート」開催(16日にノルウェー交流フォーラム、支笏湖小学校で開催)
		3月	千歳市泉沢養魚場事業休止(日本海さけ・ます増殖事業協会飼育施設になる)
		4月1日	ユースホステルの運営 Neoステージ撤退で元ペアレント(1970～85)の吉川悦子さんに代わる。4月19日開業
		4月1日	支笏湖ビジターセンターで「畔柳二美」展開催～7月
		4月	支笏湖温泉地区活性化協議会(福永郷正会長)発足
		5月20日	モーラップ全国植樹祭の森47年目の記念植樹
		7月14日	樽前山の苫小牧市道「樽前観光道路」の五合目ゲートでの規制始まる
		7～10月	支笏湖地区で特定外来生物オオハンゴンソウ駆除始まる
		7月30日	環境省自然公園指導員、樽前荘・吉川英二氏に自然環境局長表彰伝達
		10月23日	支笏湖漁業協同組合設立総会
		10月	Neoステージ、日本語、英語、中国語、韓国語の「グリーンマップ」作製
		10月27日	支笏湖ビジターセンターで、大正から昭和にかけて撮影された谷本亀氏のガラス甲板138点のうち約100枚を展示～来年2月
		11月	気象庁の「噴火警戒レベル」樽前山に導入、運用開始
		11月	千歳市役所に樽前山監視画像のモニターを設置
		11月	王子製紙千歳川第1～5水力発電所・山線4号機関車経済産業省「近代化産業遺産」認定
		この年	カフェ&レストラン美里開店 国土地理院電子国土基本図修正 モシルン美笛川(修正前-美笛川)、ソウオン美笛川(修正前-モンルウン美笛川) 美笛川はフレ岳からの無名沢を含め千歳川と改称(美笛川改称年不詳)
20	2008	1月19日	「支笏湖の水とチップの会」の研究成果「支笏湖の人と自然」出版記念会開催
		3月1日	支笏湖漁業協同組合に北海道知事より漁業権が免許される(第5種)
		3月31日	支笏湖商交会解散(2回目)

		3月	鶴雅観光開発「支笏湖観光ホテル」を買収 11月から休業して改築→しこつ湖鶴雅リゾートスパ 水の譚
		3月	「樽前山火山活動時における初動対応検討会」を「樽前山火山防災検討会」に再編 初会合は7月
		4月1日	環境省支笏湖地区初の女性保護官着任・柳谷牧子
		4月	千歳市ヒメマスの管理運営を支笏湖漁業協同組合に委託
		4月27日	支笏湖観光センター(ポロピナイ休憩所)建て替えオープン
		5月	ガソリンスタンド新北光石油支笏湖ステーション閉店(1968年山三ふじや設置、1978年同社引き継ぐ)
		5月	環境省・モラップ地区園地整備完了
		6月1日	ユースホステル三角屋根板を材料に一般公募オーナーが製作したカヌー3艘完成
		6月28日	2004年9月台風18号国有林被害復興を目指す「コンサ百年の森づくり」記念植樹 10/12にも実施
		6月29日	支笏湖いかだ渡りプロジェクト 1977年4月以来(2009年にも実施)
		夏	札幌開発建設部の国道453号温泉～幌美内間落石対策防災工事、湖岸擁壁補修工事始まる
		7月1～10日	ジュニアエイトサミット2008千歳支笏湖開催
		7月8日	北海道洞爺湖サミット
		8月1日	レイクサイドヴィラ翠明閣オープン(王子製紙翠明閣経営権丸駒温泉旅館譲渡は2008年3月)
		10月3日	2004年9月台風18号国有林被害復興を目指す日本ハムファイターズ「B・Bの森」植樹
		11月1日	支笏湖北海ホテル冬期休業
		この年	ポロピナイキャンプ場今年度で閉鎖決定
		12月?	国道453号・道道16号、西森交差点(水明郷交差点)拡幅工事完成
		秋	支笏湖漁業協同組合ヒメマスほっちゃれ「秋ひめ」と命名
21	2009	1月28日	支笏湖小学校・石狩森林管理署「遊々の森」協定締結
		1月	千歳・支笏湖水濤まつり開催期間を25日間から17日間に短縮(2012年まで)
		5月15日	千歳ニッツウサービス支笏湖給油所オープン
		5月15日	しこつ湖鶴雅リゾートスパ水の譚オープン
		7～9月	苔の洞門モニターツアー(～2012年度まで)
		8月1、2日	支笏湖洞爺国立公園指定60周年記念行事開催
		9月11日	支笏湖自然保護官事務所改築開所式(旧事務所1980年建設 支笏湖駐在所横)
		11月26日	北海道地方環境事務所「天皇陛下御在位20年記念植樹」、VC前・園地などにキタコブシ3本
		11月末	食堂・湖月荘閉店
22	2010	4月11日	湖水開きに合わせ「温玉ライス」提供始まる。提供に関する調印式
		5月22日	日本、中国、韓国の3カ国環境大臣会合(しこつ湖鶴雅リゾートスパ 水の譚)
		11月	支笏湖北海ホテル全面休業
		この年	有料体験イベント温泉旅館組合「支笏湖体験物語」始まる(前身・休暇村支笏湖「体験物語」、2009年実施) 支笏湖観光運輸、高速モーターボート丸駒温泉、伊藤温泉、オコタンへの乗合運行休止
23	2011	1月	12月31日～1月22日真冬日連続23日間
		3月11日	東日本大震災(14時41分)震度＝支笏湖温泉2、千歳4) 支笏湖で水位変化(14時248.37m、15時248.45m、16時248.41m、17時248.36m):静震?
		4月1日	千歳観光連盟 一般社団法人化
		6月7日	風不死岳活火山に認定(火山噴火予知連絡会)
		この年	オコタン野営場休止(開設せず)

24	2012	4月20日	千歳観光連盟周遊自転車ビジターセンターにて貸出開始
		5月	「支笏湖ガイドハウスかのあ」営業開始(営業届けは2011年4月)
		7月10日	支笏湖駐在所改築開所式
		11月1日	支笏湖温泉旅館組合が札幌支笏湖間に無料シャトルバス運行(名湯ライナー)～4月30日
		12月6日	30年ぶりの増水と低気圧強風により支笏湖各所で被害 貫田棧橋など破損
		この年	苔の洞門研究会発足
25	2013	1月	しこつ湖鶴雅リゾートスパ水の謔が支笏湖北海ホテルを取得
		1月	千歳・支笏湖水濤まつり開催期間を25日間に延長
		1月	1月1日～24日真冬日連続24日間
		3月5日	新泉源湧出(第2泉源/ナトリウム-炭酸水素・塩化物泉)33.2度、510ℓ/分(動力揚湯)
		4月	いとう温泉(旅館業(株)ティーアールエス経営)が鬼怒川金谷ホテルに経営譲渡(含・プリンスホテル跡地)
		11月2日	恵庭岳ポロピナイ沢・札幌の女性滑落死
26	2014	11月	イチャンコッペ山反射板撤去(南北2基、北海道開発局)
		1月1日	樽前山で苫小牧の男性吹雪で不明(道迷・2日無事発見)
		2月25日、27日	酪農学園大ほか、国道453号温泉～幌美内間閉鎖して初のエゾシカシャープシューティング(学術捕獲)2日間で12頭
		4月1日	消費税8%
		4月6日	苫小牧の男性山菜取紋別岳で転落死
		4月13日	第2泉源開湯式(湖水開き)
		5月4日	亀田商店(自販機ショップ)開店
		5月8日	オーシャンデイズ開店(支笏カムイゲストハウス開店7月、パン販売8月)
		6月	千歳市支笏湖ヒメマスふ化場解体(1928年建築)新築工事着工
		7月	貫田棧橋跡にボート事業者「支笏湖中央ボート」開業(正式には2016年5月1日)
		9月9～12日	豪雨、3日間の総雨量380mm 苔の洞門第1・第2入口崩落、国道453号ポロピナイ沢、恵庭岳西沢など土砂流出で通行止(9月11日、温泉地区住民に避難勧告)
		10月11日	藤の沢でヒグマに襲われ男1人重傷(千歳市内人身事故は1976年風不死事件以来)
		12月19日	千歳市支笏湖ヒメマスふ化場新築落成(12月25日開場式)
		この年	支笏湖オリジナル包装紙できる。(考案・自然公園財団支笏湖支部)
27	2015	4月1日	「千歳サケのふるさと館」が「サケのふるさと 千歳水族館」に改称(リニューアルオープン7月25日)
		4月25日	札幌の男性山菜取紋別岳沢で滑落死(発見・26日)
		5月6日	カフェ&レストラン美里閉店「支笏湖ガイドハウスかのあ」買収して5月9日入居
		7月	一休店舗跡に食堂「昭和物産」開店
		9月11日	2014年9月豪雨で路肩崩れの千歳市道湖畔1号線開通
		10月8日	台風23号(温帯低気圧)の暴風による倒木各所で多発、温泉街孤立～9日朝
		11月25日	支笏湖ビジターセンター入館者600万人セレモニー
		12月25日	丸駒温泉旅館、協力会・エーデルワイスの会創業100年記念で千歳市へ100万円寄付(創業100年は12/30)
		この年	
28	2016	3月10日	白老岳で千歳男性(65)滑落低体温死
		3月29日	樽前山火山防災協議会発足(苫小牧、千歳、恵庭、白老、安平、厚真、むかわの3市4町、支笏湖温泉旅館組合など)
		4月8日	「支笏湖老人クラブ」が「支笏湖畔クラブ」に名称変更

	4月17日	湖水開きに合わせてヒメマス魚醬「姫しずく」発売
	4月24日	千歳川溪谷山菜事故札幌男性死亡
	4月29日	湖月荘跡にペンネンノルデ開店
	9月24日	7月14日恵庭岳で行方不明の江別女性(42)、ポロピナイ沢で遺体発見
	11月	旧北海ホテル解体工事
	12月23日	支笏湖神社本殿遷座祭(小学校下から移設)

この歴史年表は、元千歳市史編集委員会の守屋憲治氏の全面的な協力でもとめることができました。今後、新たな修正・加筆は随時行い、その結果はHP上で公開する考えです。加筆、修正が必要とされる事項等があった場合、自然公園財団支笏湖支部・先田までご連絡くださるようお願いいたします。

Emaile: sakita@cocoa.ocn.ne.jp